

**妊娠・出産・子育て（乳児期～幼児期）
に関する意識調査
結果報告書**

**令和6年6月
京都市**

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査設計.....	1
3 回収結果.....	1
4 調査結果の見方.....	1
II. 調査結果.....	2
1 お子さまの状況について.....	2
2 妊娠・出産・子育ての悩みや不安への支援.....	5
3 妊娠・子育てに関連するサービス等の利用状況について.....	38
4 回答者の状況について.....	42
5 自由記述.....	47
III. 参考資料(調査票).....	48

I. 調査の概要

1 調査の目的

一定期間に乳幼児健康診査を受診された保護者を対象に、妊娠・出産に対する意識やご家庭での育児の状況、妊娠・出産・子育て（乳児期～幼児期）に関する主な行政サービスへのご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の妊娠・出産・子育て（乳児期～幼児期）施策等の充実に向けた基礎資料とすることを目的に調査しました。

2 調査設計

対象	乳幼児健康診査（4か月児、8か月児、1歳6か月児、3歳児） を受診した児童の保護者
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査実施時期	令和5年12月5日～12月25日
調査方法	郵送により配布、回収（WEB回答併用）

3 回収結果

調査対象者（配布数）	有効回答数	有効回答率
1,100件	516件	46.9%

4 調査結果の見方

- ①図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示します。
- ②回答比率（％）は回答者数（n）を100％として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。
- ③図表中に「MA％」の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問であり、回答比率（％）の計は100.0％を超えます。
- ④図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- ⑤図表のn値が少ない場合、見方には注意が必要です。

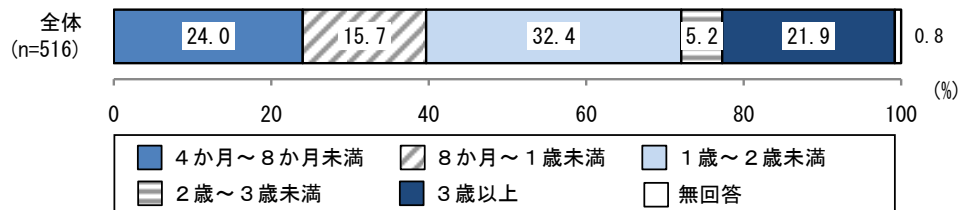
Ⅱ. 調査結果

1 お子さまの状況について

1. 子どもの年齢

問 1 (1) 令和 5 年度中に乳幼児健康診査を受けられたお子さまの年齢をお答えください。
(令和 5 年度中に乳幼児健康診査を受けられたお子さまが 2 人以上いる場合は、直
近で受けたお子さまの年齢をお答えください。)(○は 1 つ)

【図1-1 子どもの年齢】

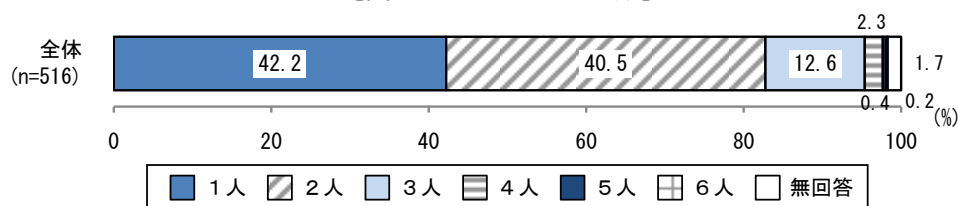


子どもの年齢は、「1 歳～2 歳未満」が 32.4%と最も多く、次いで「4 か月～8 か月未満」が 24.0%、「3 歳以上」が 21.9%、「8 か月～1 歳未満」が 15.7%、「2 歳～3 歳未満」が 5.2%となっています。(図 1-1)

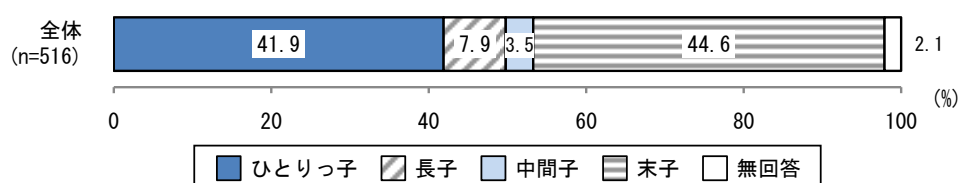
2. 兄弟姉妹の人数

問 1 (2) 問 1 (1)に該当のお子さまは兄弟姉妹の何人中何番目のお子さまですか。

【図1-2-1 子どもの人数】



【図1-2-2 兄弟姉妹】



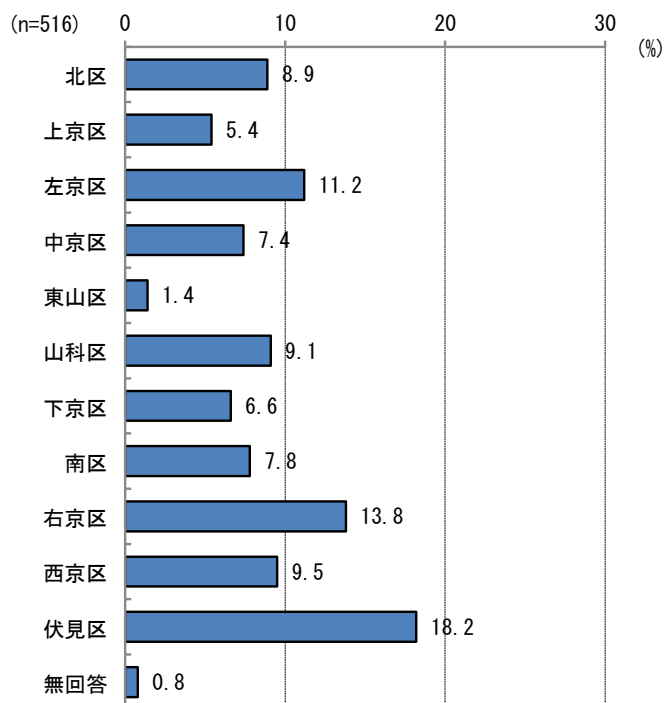
子どもの人数は、「1人」が42.2%と最も多く、次いで「2人」が40.5%、「3人」が12.6%、「4人」が2.3%、「5人」が0.4%となっています。(図 1-2-1)

兄弟姉妹は、「末子」が44.6%と最も多く、次いで「ひとりっ子」が41.9%、「長子」が7.9%、「中間子」が3.5%となっています。(図 1-2-2)

3. 居住区

問2 現在のお住まいの区をお答えください。

【図1-3 居住区】



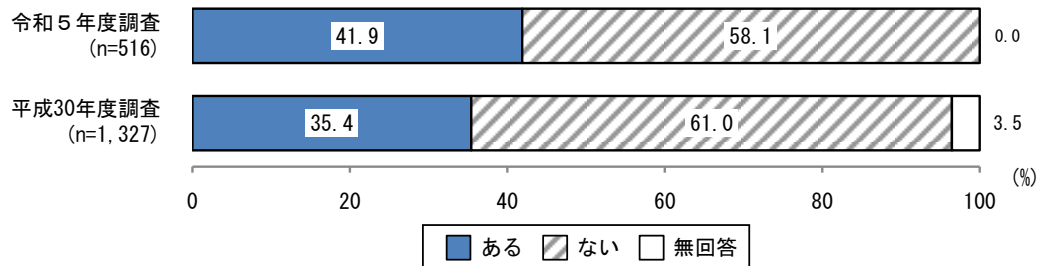
居住区は、「伏見区」が18.2%と最も多く、次いで「右京区」が13.8%、「左京区」が11.2%、「西京区」が9.5%、「山科区」が9.1%となっています。（図1-3）

2 妊娠・出産・子育ての悩みや不安への支援

1. 不妊で悩んだことの有無

問3(1) 不妊について悩んだことはありますか。(○は1つ)

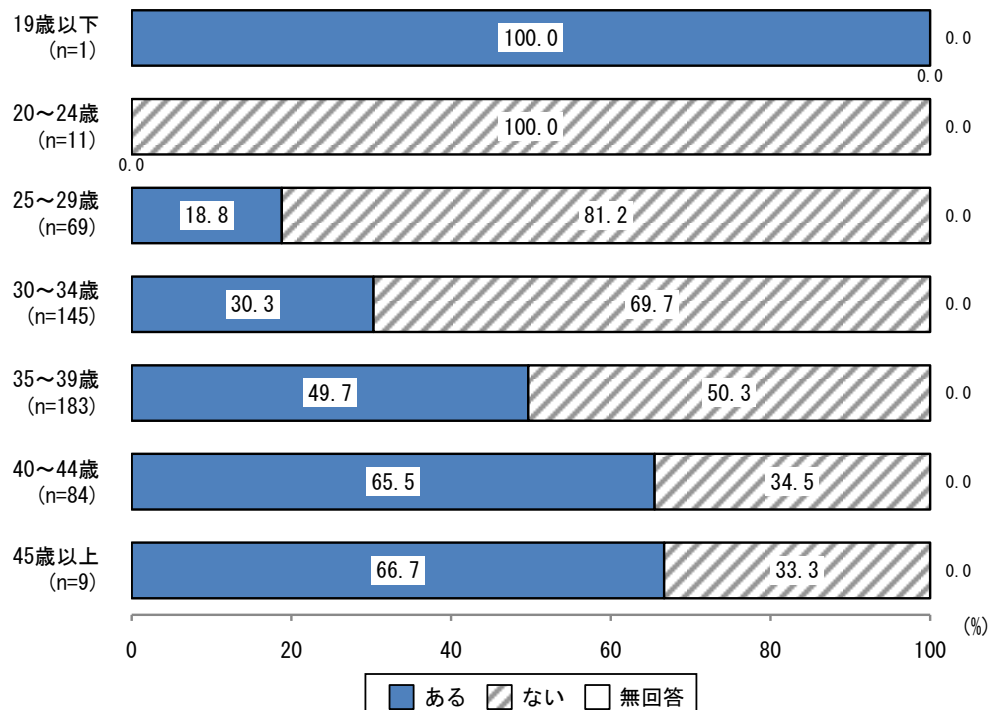
【図2-1 不妊で悩んだことの有無】



不妊で悩んだことの有無は、「ある」が41.9%、「ない」が58.1%となっています。前回調査と比較すると、「ある」が6.5ポイント高くなっています。(図2-1)

□年齢別

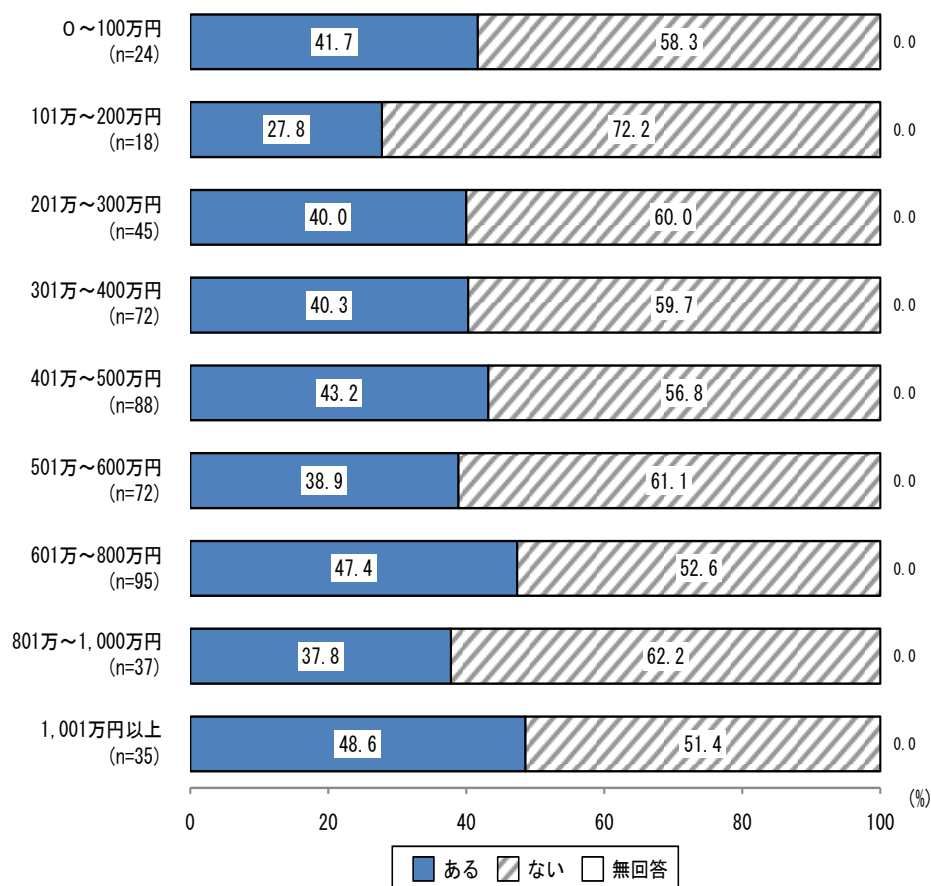
【図2-1-1 年齢別 不妊で悩んだことの有無】



年齢別にみると、20歳～39歳では「ある」より「ない」の割合が高くなっています。一方40歳以上では「ある」の割合が高くなっています。年齢が上がるほど割合が高い傾向となっています。(図2-1-1)

□可処分所得別

【図2-1-2 可処分所得別 不妊で悩んだことの有無】



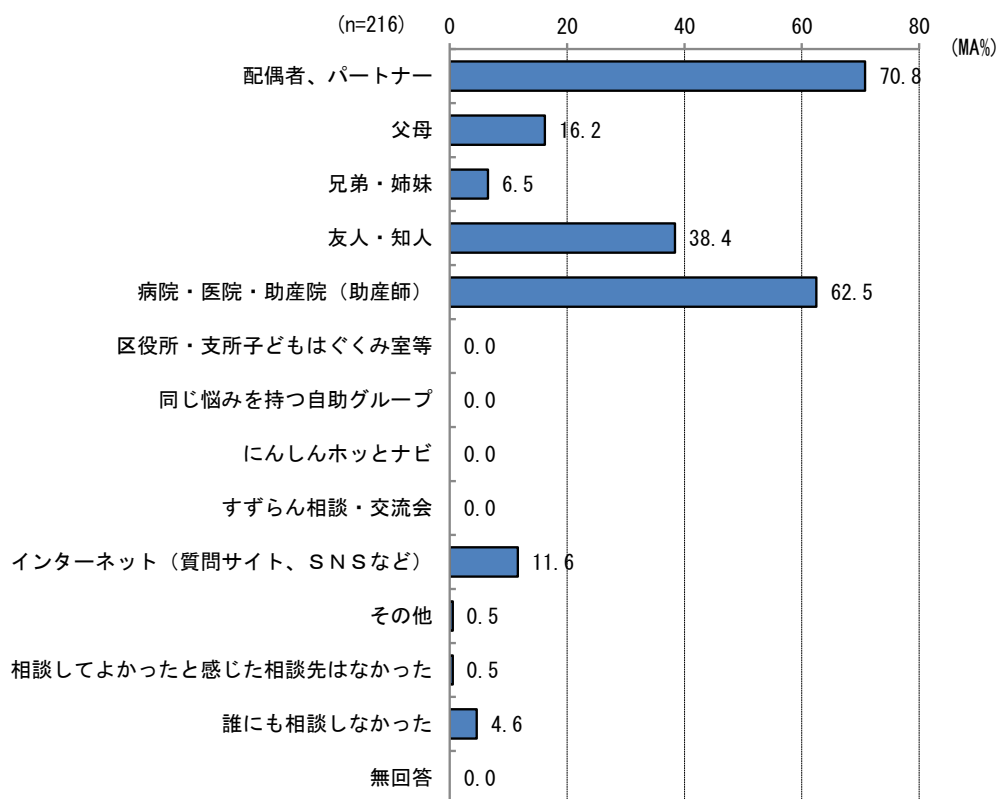
可処分所得別にみると、区分にかかわらず「ある」より「ない」のほうが割合が高くなっています。“601 万～800 万円” 及び “1,001 万円以上” では、「ある」の割合が、約半数ほどになっています。(図 2-1-2)

2. 不妊で悩んだときに相談してよかった相談先

《問3(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問3(2) その悩みについて、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

【図2-2 不妊で悩んだときに相談してよかった相談先】



不妊で悩んだときに相談してよかった相談先は、「配偶者、パートナー」が70.8%と最も多く、次いで「病院・医院・助産院（助産師）」が62.5%、「友人・知人」が38.4%、「父母」が16.2%、「インターネット（質問サイト、SNSなど）」が11.6%となっています。（図2-2）

□年齢別

【表2-2-1 年齢別 不妊で悩んだときに相談してよかった相談先】

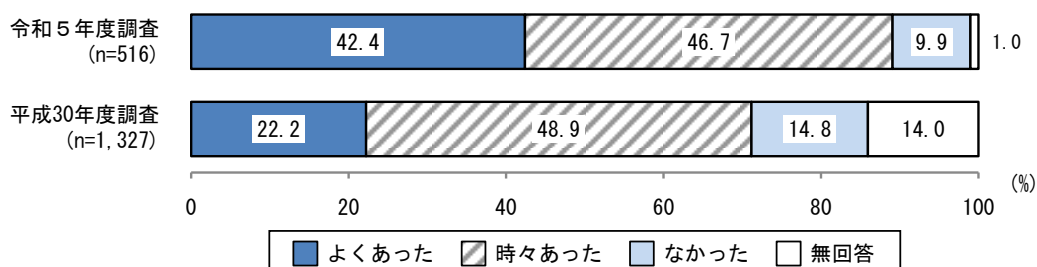
	n	配偶者、 パートナー	父母	兄弟・ 姉妹	友人・ 知人	病院・医院・ 助産院 (助産師)	区役所・支 所子ども ぐくみ室等	同じ悩 みを持つ 自助グ ループ	にんし んホツと ナビ	す ずらん 相談・ 交流 会	サイ ンター ネット (質 問 S N S な ど)	そ の 他	相 談 し て よ か っ た と 感 じ た 相 談 先 は な か っ た	誰 に も 相 談 し な か っ た	(%) 無 回 答
19歳以下	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	13	69.2	30.8	7.7	38.5	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
30～34歳	44	68.2	20.5	6.8	34.1	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0
35～39歳	91	75.8	15.4	4.4	36.3	64.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	2.2	0.0
40～44歳	55	69.1	12.7	10.9	49.1	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	0.0	1.8	9.1	0.0
45歳以上	6	66.7	16.7	0.0	33.3	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0

年齢別にみると、“25～29歳”“30～34歳”“35～39歳”“40～44歳”では、「配偶者、パートナー」が最も多く、次いで「病院・医院・助産院（助産師）」、「友人・知人」の順に多くなっています。（表 2-2-1）

3. 妊娠中の妊娠・出産・育児についての心配の有無

問 4 (1) 妊娠中、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがありましたか。(○は1つ)

【図2-3 妊娠中の妊娠・出産・育児についての心配の有無】

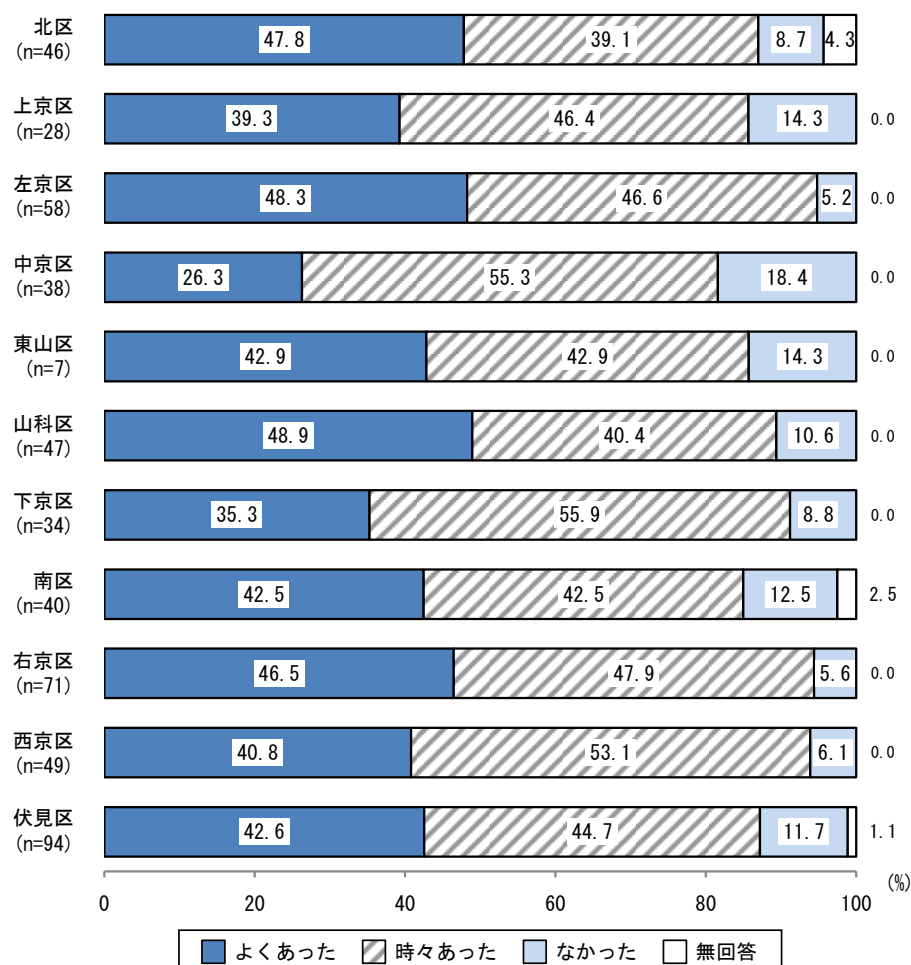


妊娠中の妊娠・出産・育児についての心配の有無は、「よくあった」が42.4%と最も多く、「時々あった」が46.7%、「なかった」が9.9%となっています。

前回調査と比較すると、「よくあった」が20.2ポイント高くなっています。(図2-3)

□居住区別

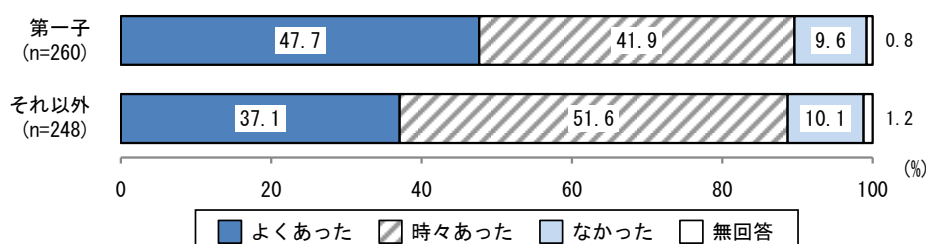
【図2-3-1 居住区別 妊娠中の妊娠・出産・育児についての心配の有無】



居住区別にみると、いずれの区も「よくあった」と「時々あった」で8割以上を占めています。特に、“北区”“左京区”“山科区”では、「よくあった」がそれぞれ47.8%、48.3%、48.9%と半数近くとなっています。(図2-3-1)

□健診を受けた子の出生順別

【図2-3-2 健診を受けた子の出生順別 妊娠中の妊娠・出産・育児についての心配の有無】



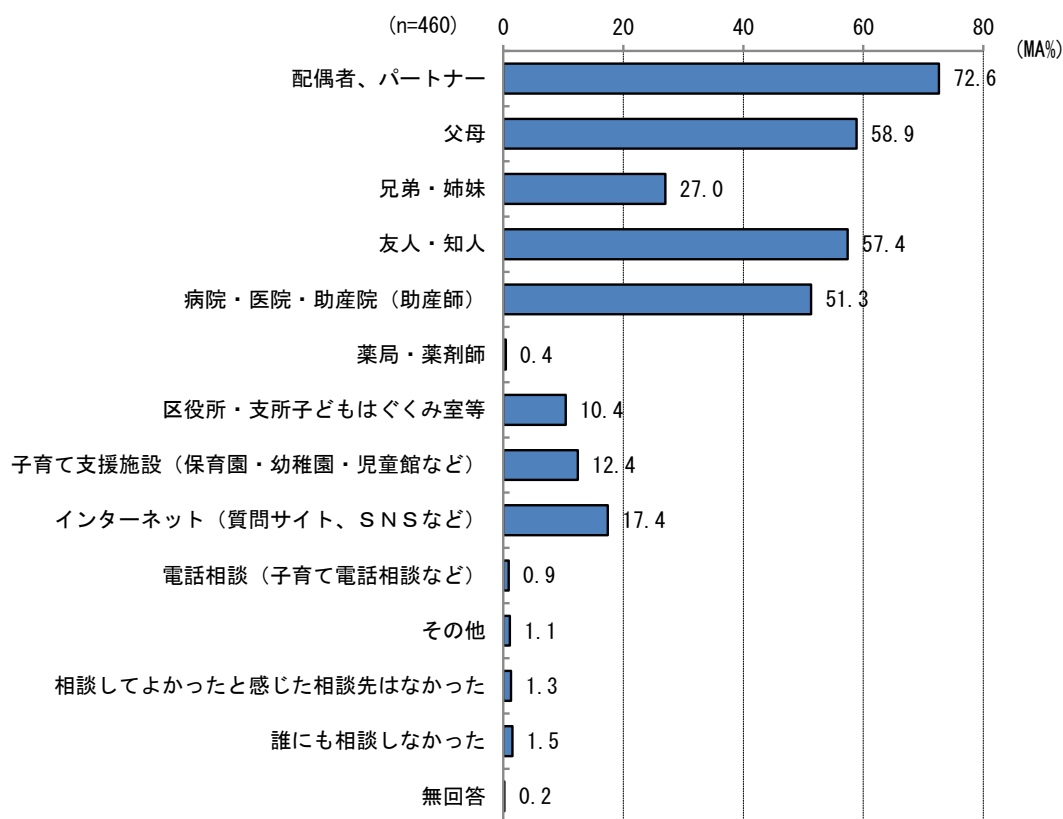
健診を受けた子の出生順別にみると、“第一子”は、「よくあった」(47.7%)、“それ以外”では「時々あった」(51.6%)が、それぞれ最も多くなっています。(図2-3-2)

4. 妊娠・出産・育児について相談してよかった相談先

《問4(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。》

問4(2) その悩みや不安について、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

【図2-4 妊娠・出産・育児について相談してよかった相談先】

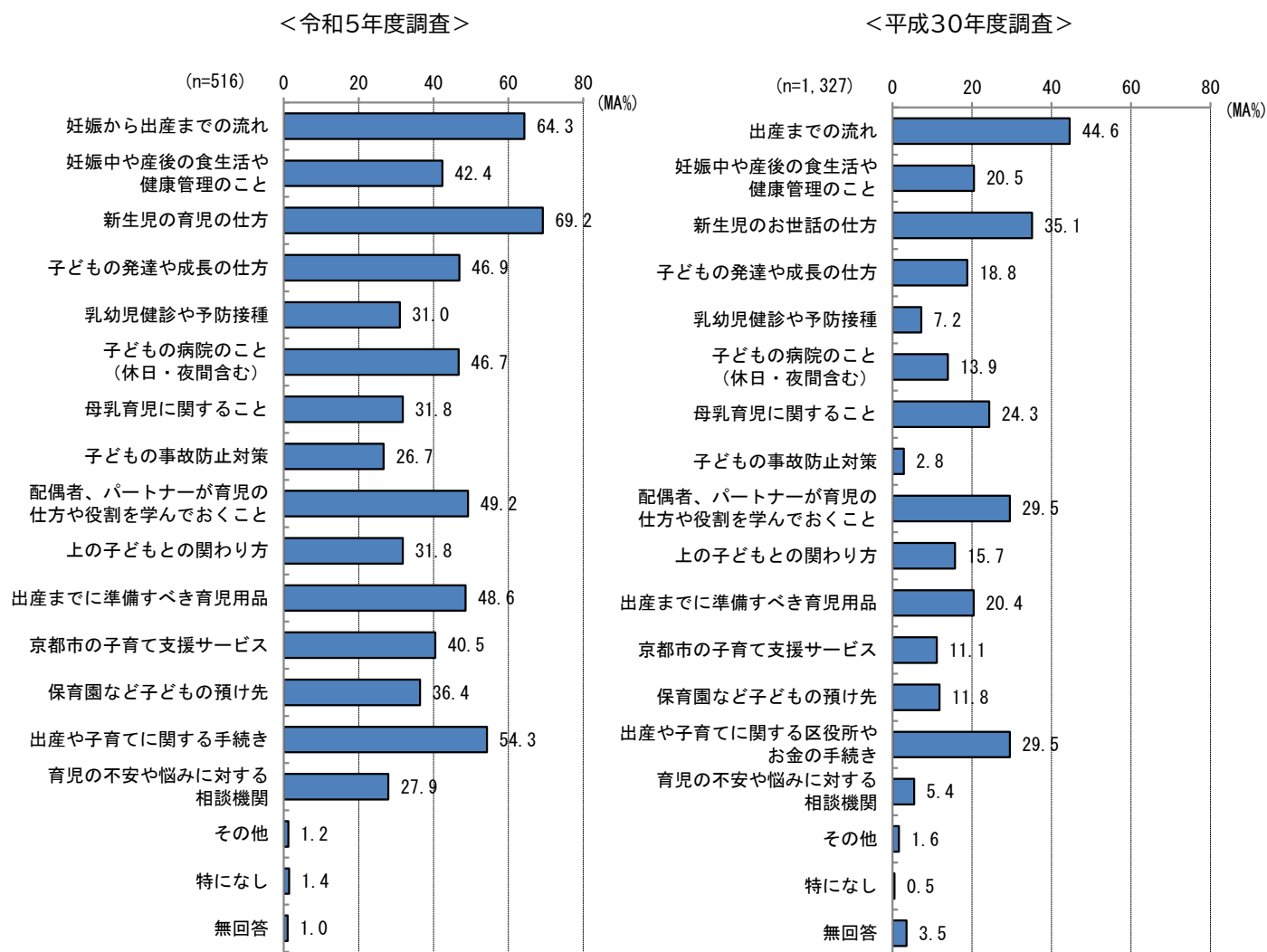


妊娠・出産・育児について相談してよかった相談先は、「配偶者、パートナー」が72.6%と最も多く、次いで「父母」が58.9%、「友人・知人」が57.4%、「病院・医院・助産院（助産師）」が51.3%、「兄弟・姉妹」が27.0%となっています。（図2-4）

5. 妊娠中に知っておくと役に立つこと

問5 妊娠中に知っておくと、役に立つと思うことについてお答えください。（複数回答可）

【図2-5 妊娠中に知っておくと役に立つこと】



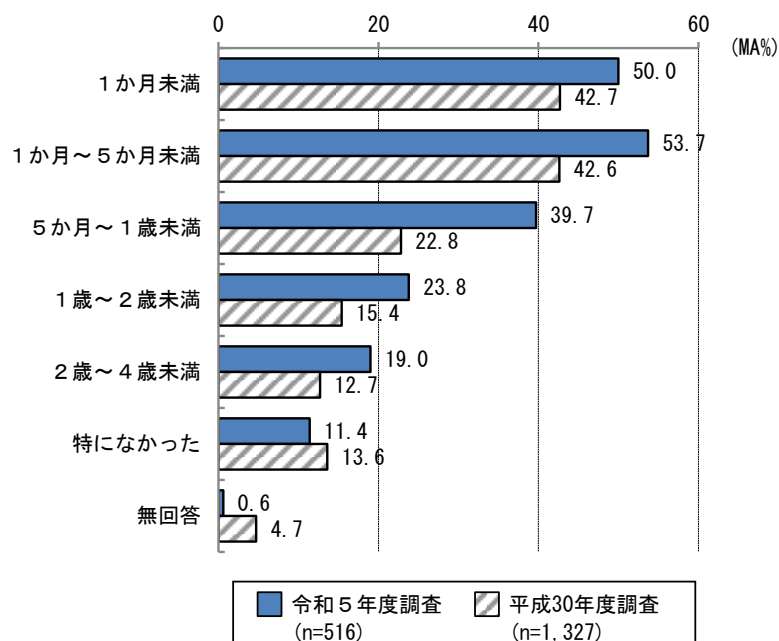
※前回調査は3つまで回答可の設問

妊娠中に知っておくと役に立つことは、「新生児の育児の仕方」が69.2%と最も多く、次いで「妊娠から出産までの流れ」が64.3%、「出産や子育てに関する手続き」が54.3%、「配偶者、パートナーが育児の仕方や役割を学んでおくこと」が49.2%、「出産までに準備すべき育児用品」が48.6%となっています。（図2-5）

6. 育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期

問 6 (1) 育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期はいつですか。(複数回答可)

【図2-6 育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期】



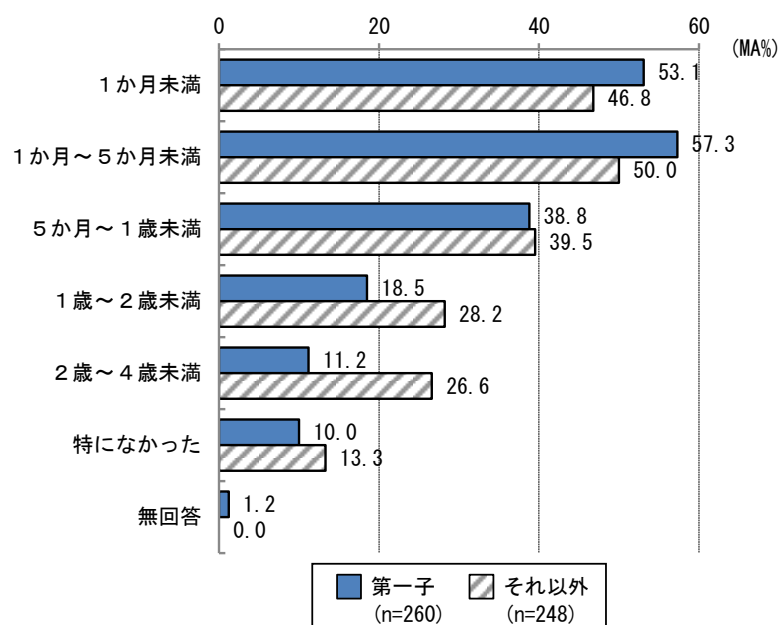
※『2歳～4歳未満』は、前回調査では『2歳～3歳3か月』

育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期は、「1か月～5か月未満」が53.7%と最も多く、次いで「1か月未満」が50.0%、「5か月～1歳未満」が39.7%となっています。

年齢が上がるごとに割合は低くなる傾向にありますが、いずれの期間も前回調査より割合が高くなっています。(図 2-6)

□健診を受けた子の出生順別

【図2-6-1 健診を受けた子の出生順別 育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期】



※『2 歳～4 歳未満』は、前回調査では『2 歳～3 歳3 か月』

健診を受けた子の出生順別にみると、“第一子”“それ以外”とも「1 か月～5 か月未満」が最も多く、“第一子”では 57.3%、“それ以外”では 50.0%となっています。(図 2-6-1)

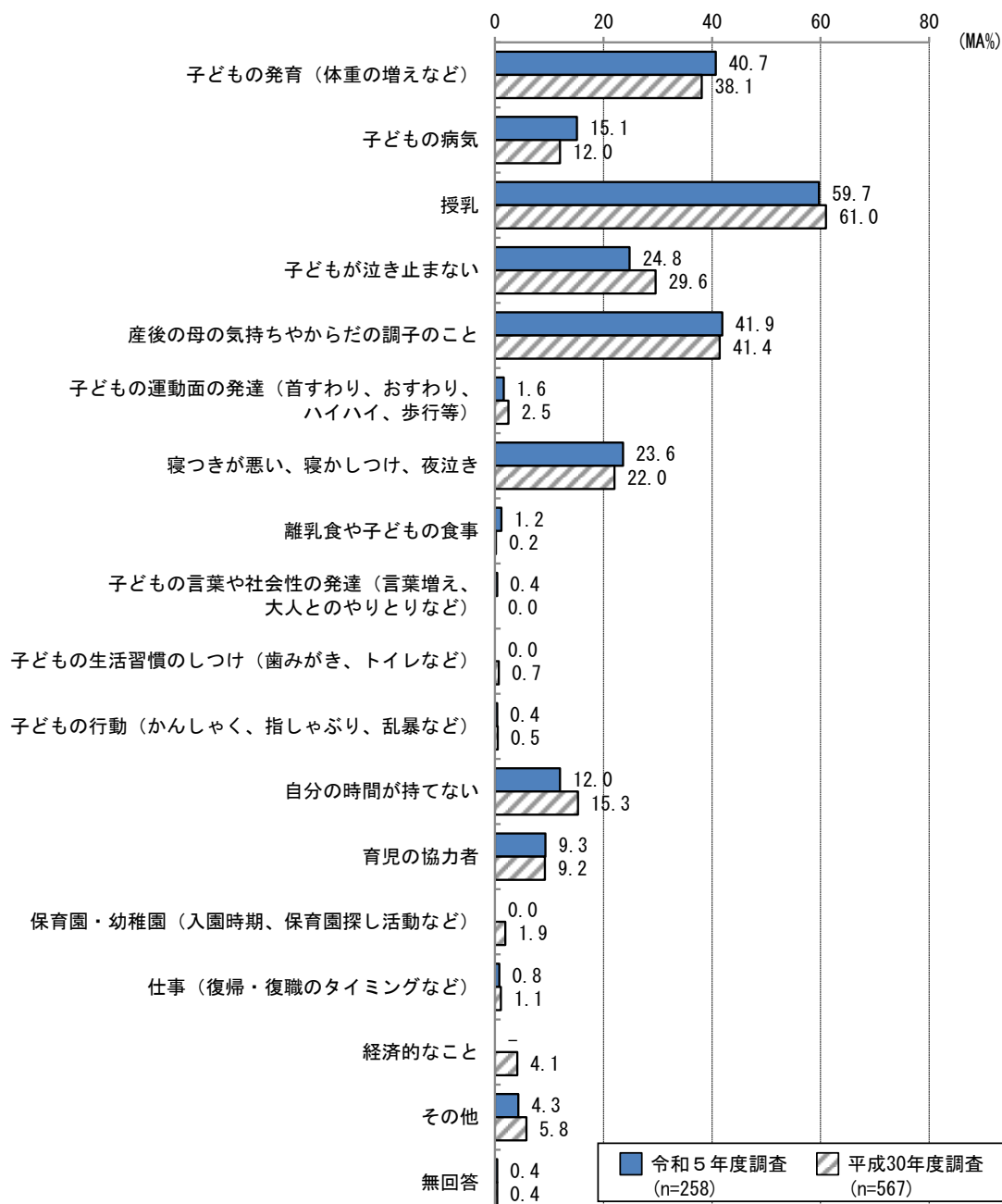
7. 悩みや不安

《問 6 (1) で「1～5」と答えた方にうかがいます。》

問 6 (2) 問 6 (1) で悩みや不安が大きいと回答したそれぞれの時期の悩みや不安はどんなことでしたか。(それぞれ 3 つまで回答)

①1ヶ月未満での悩みや不安

【図2-7① 1か月未満での悩みや不安】

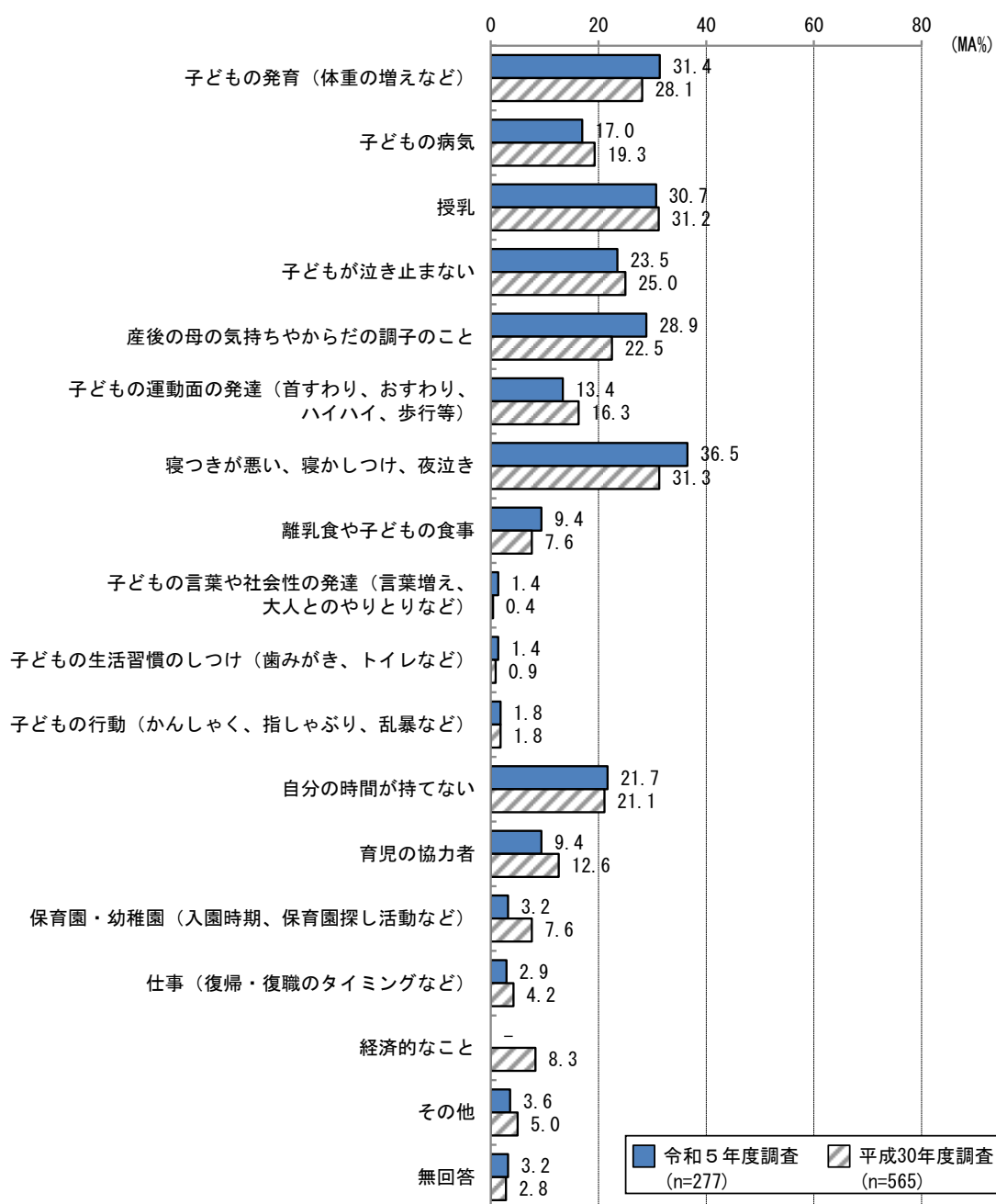


※『経済的なこと』は、前回調査のみの選択肢。

1 か月未満での悩みや不安は、「授乳」が 59.7%と最も多く、次いで「産後の母の気持ちやからだの調子のこと」が 41.9%、「子どもの発育（体重の増えなど）」が 40.7%となっています。（図 2-7①）

②1か月～5か月未満での悩みや不安

【図2-7② 1か月～5か月未満での悩みや不安】

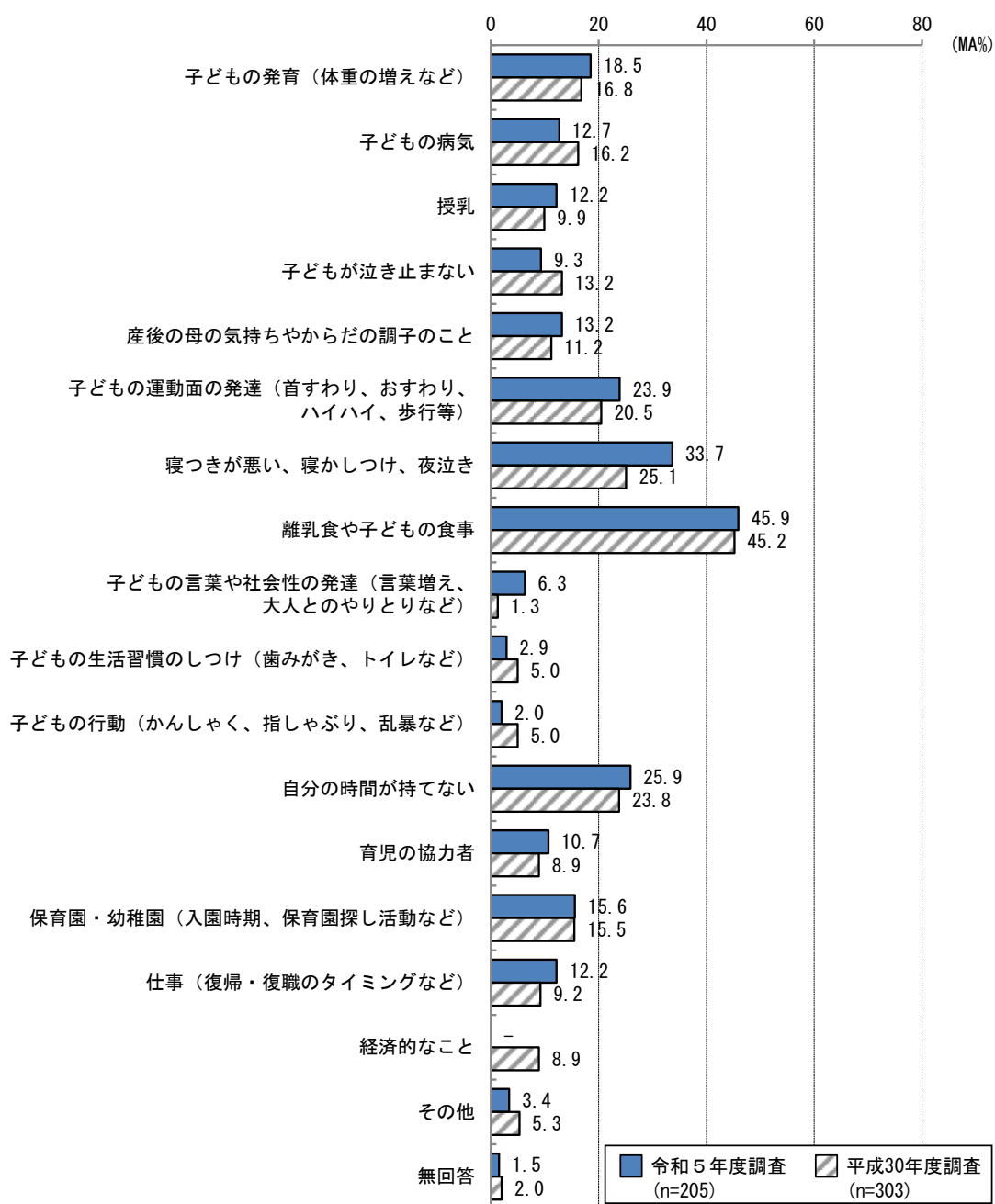


※『経済的なこと』は、前回調査のみの選択肢。

1か月～5か月未満での悩みや不安は、「寝つきが悪い、寝かしつけ、夜泣き」が36.5%と最も多く、次いで「子どもの発育（体重の増えなど）」が31.4%、「授乳」が30.7%、「産後の母の気持ちやからだの調子のこと」が28.9%となっています。（図2-7②）

③5か月～1歳未満での悩みや不安

【図2-7③ 5か月～1歳未満での悩みや不安】

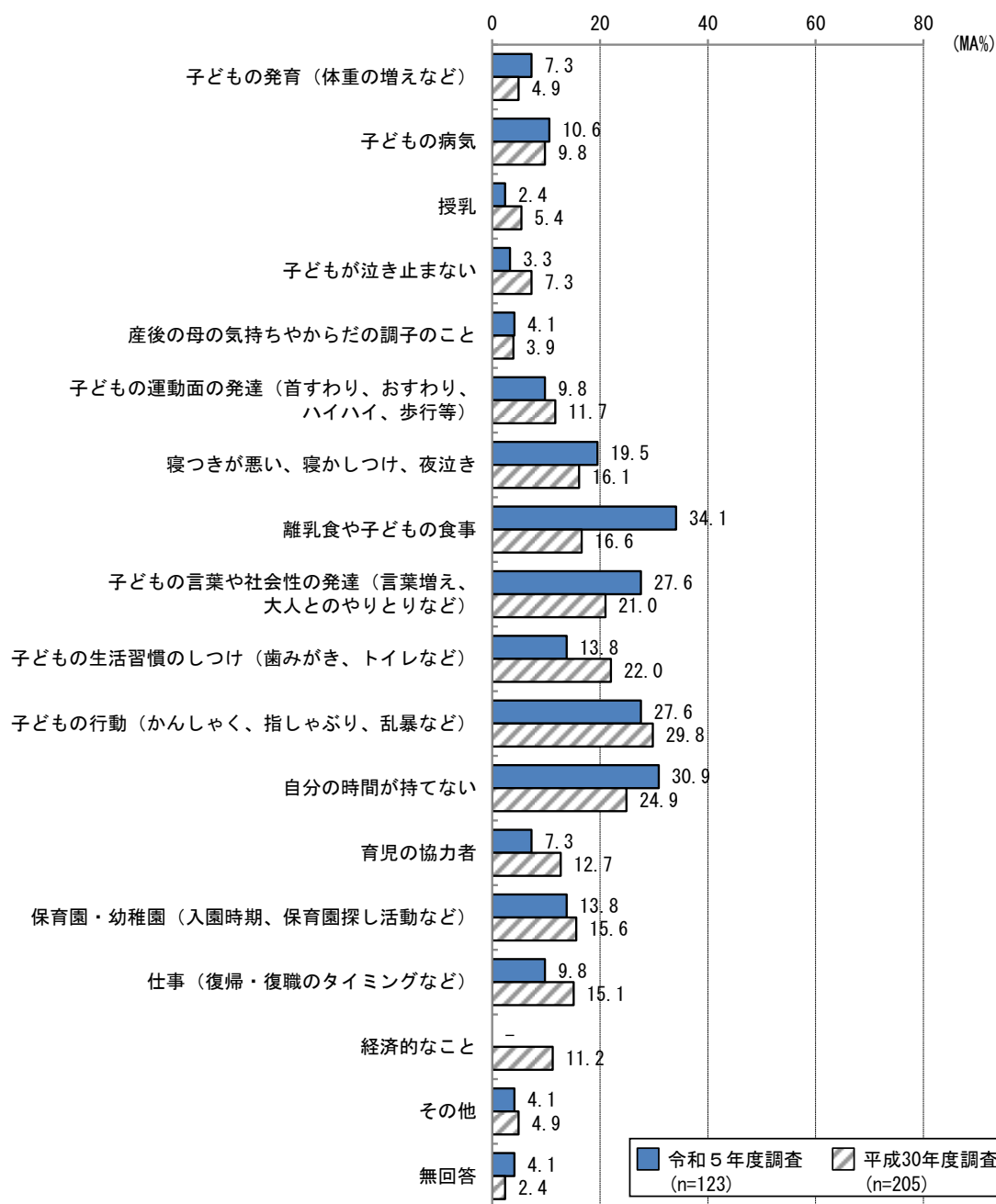


※『経済的なこと』は、前回調査のみの選択肢。

5か月～1歳未満での悩みや不安は、「離乳食や子どもの食事」が45.9%と最も多く、次いで「寝つきが悪い、寝かしつけ、夜泣き」が33.7%、「自分の時間が持てない」が25.9%、「子どもの運動面の発達（首すわり、おすわり、ハイハイ、歩行等）」が23.9%となっています。（図2-7③）

④1歳～2歳未満での悩みや不安

【図2-7④ 1歳～2歳未満での悩みや不安】

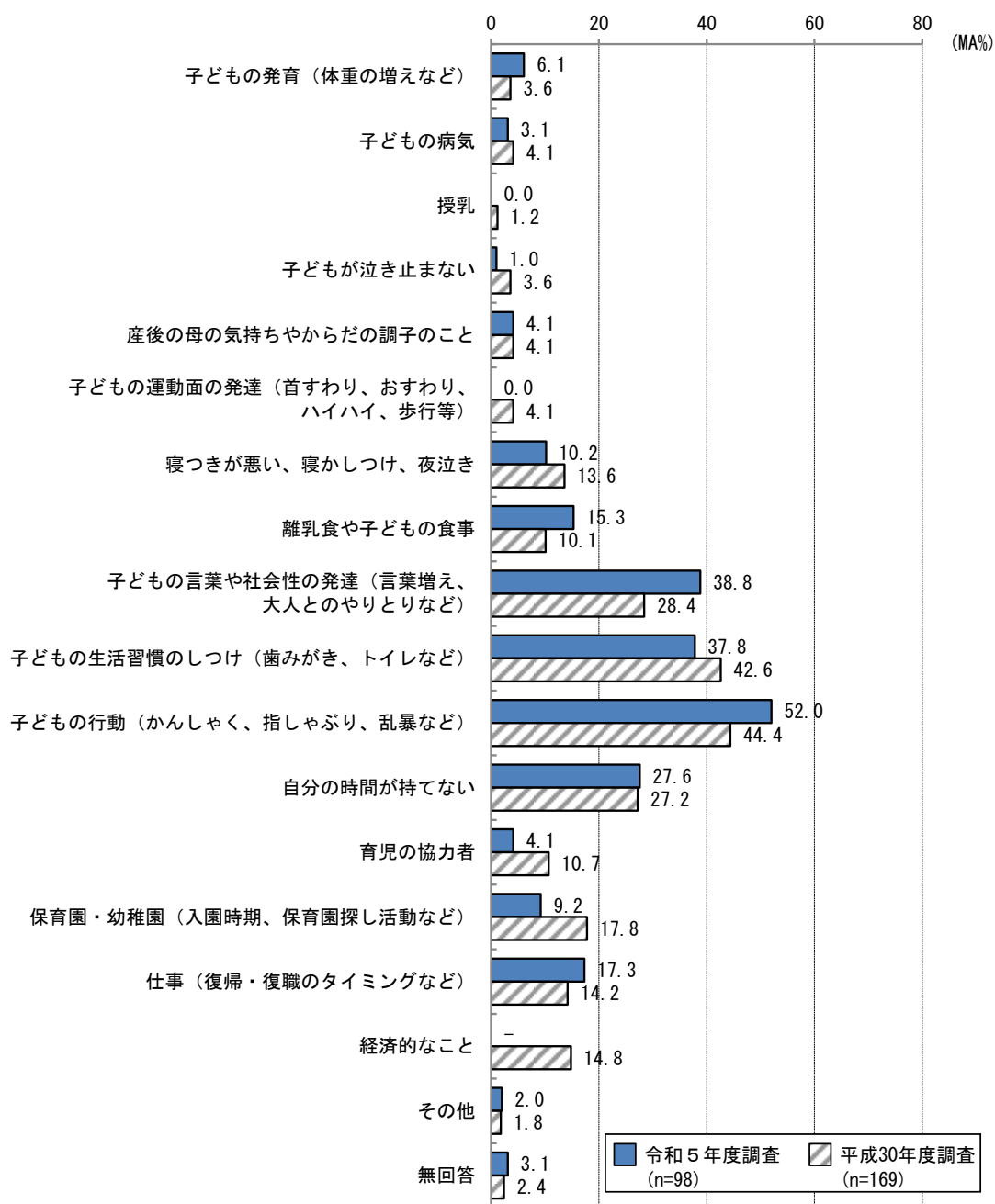


※『経済的なこと』は、前回調査のみの選択肢。

1歳～2歳未満での悩みや不安は、「離乳食や子どもの食事」が34.1%と最も多く、次いで「自分の時間が持てない」が30.9%、「子どもの言葉や社会性の発達（言葉増え、大人とのやりとりなど）」、「子どもの行動（かんしゃく、指しゃぶり、乱暴など）」がそれぞれ27.6%となっています。（図2-7④）

⑤2歳～4歳未満での悩みや不安

【図2-7⑤ 2歳～4歳未満での悩みや不安】



※『2歳～4歳未満』は、前回調査では『2歳～3歳3か月』

※『経済的なこと』は、前回調査のみの選択肢。

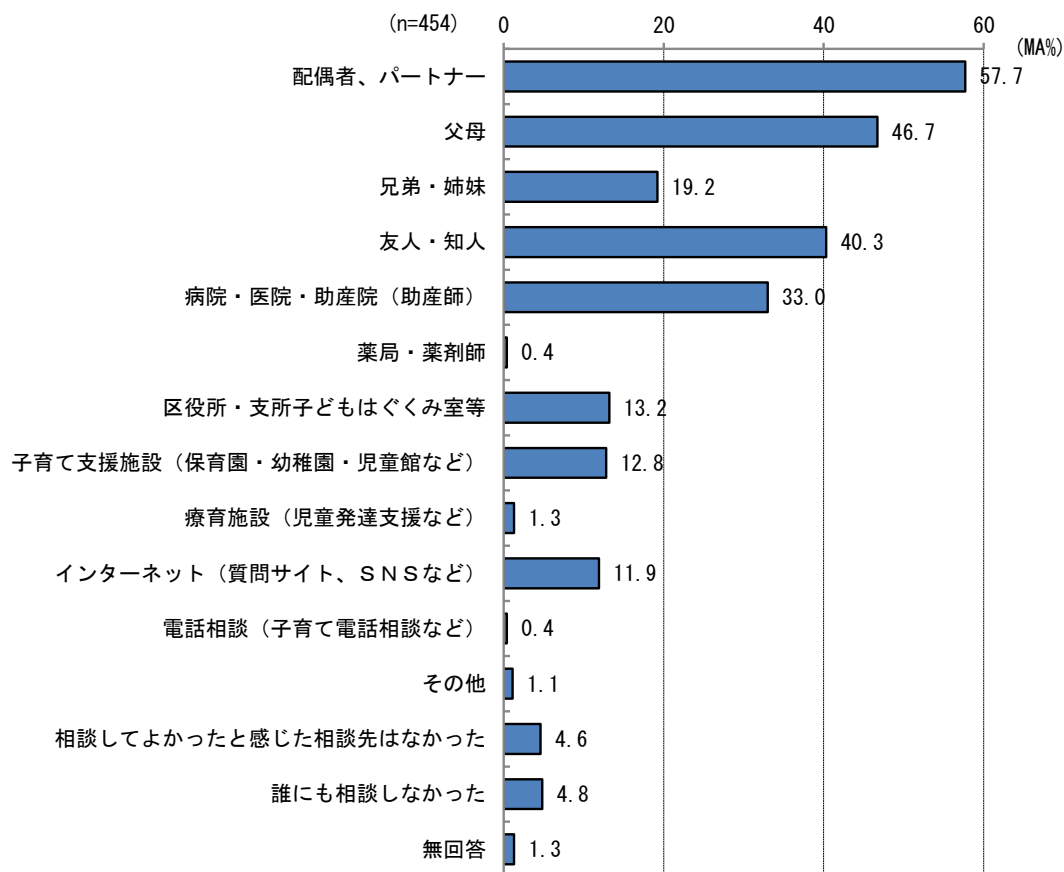
2歳～4歳未満での悩みや不安は、「子どもの行動（かんしゃく、指しゃぶり、乱暴など）」が52.0%と最も多く、次いで「子どもの言葉や社会性の発達（言葉増え、大人とのやりとりなど）」が38.8%、「子どもの生活習慣のしつけ（歯みがき、トイレなど）」が37.8%となっています。（図2-7⑤）

8. 育児期間中の悩みや不安を相談してよかった相談先

《問6(1)で「1～5」と答えた方にうかがいます。》

問6(3) その悩みや不安について、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

【図2-8 育児期間中の悩みや不安を相談してよかった相談先】



育児期間中の悩みや不安を相談してよかった相談先は、「配偶者、パートナー」が57.7%と最も多く、次いで「父母」が46.7%、「友人・知人」が40.3%、「病院・医院・助産院（助産師）」が33.0%、「兄弟・姉妹」が19.2%となっています。（図2-8）

□年齢別

【表 2-8-1 年齢別 育児期間中の悩みや不安を相談してよかった相談先】

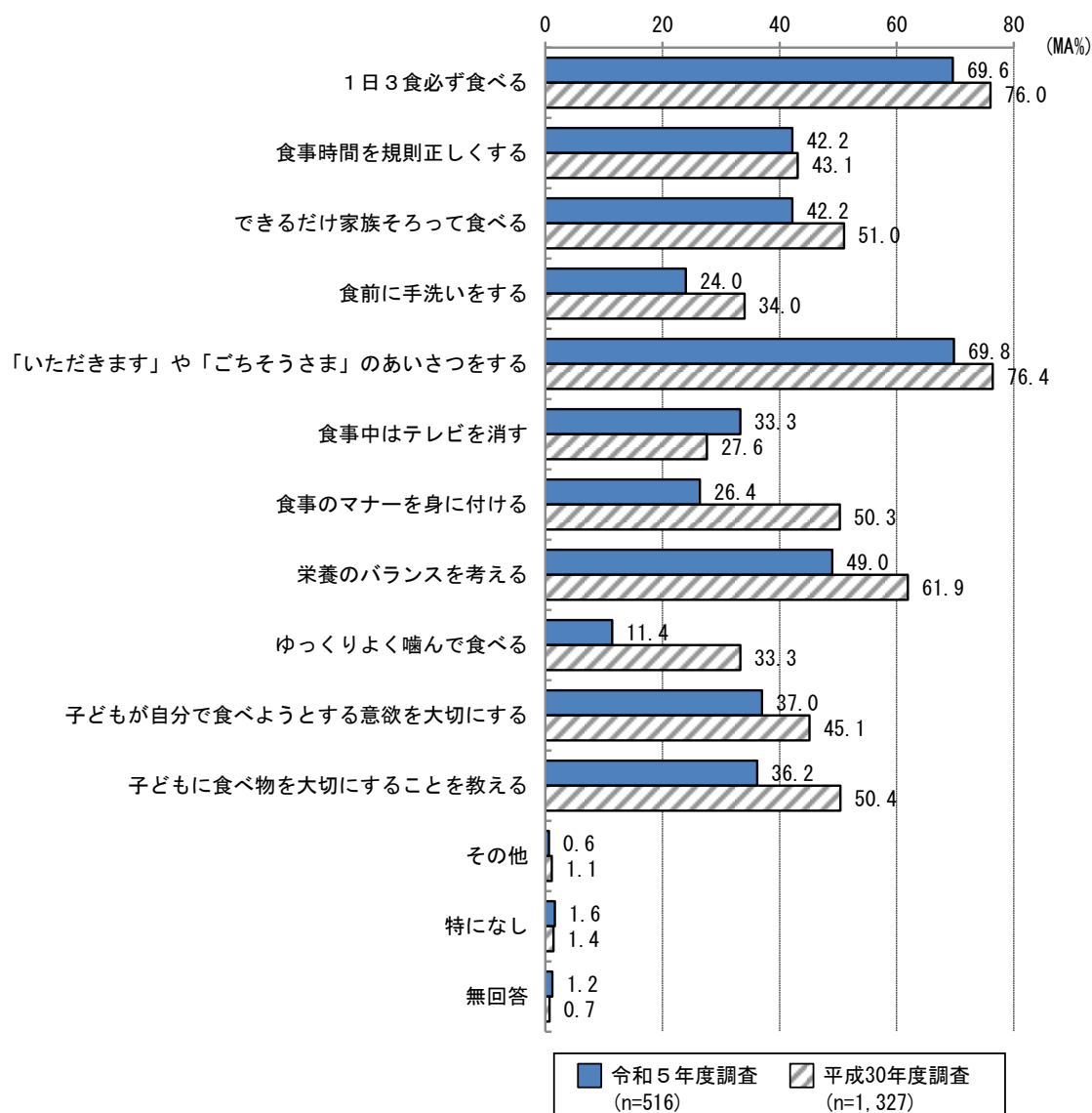
	n	配偶者、 パートナー	父 母	兄 弟・ 姉妹	友 人・ 知人	病 院・医 院・助 産院 (助産 師)	薬 局・薬 剤師	区役所・支 所子ど もは ぐくみ 室等	園・幼 稚園・ 児童 館(保 育 ど)	子育 て支 援施 設(保 育 園・ 児童 館な ど)	療育 施設 (児童 発達 支 援 な ど)	サイ ンタ ーネ ット (質 問 等)	電 話 相 談 (子 育 て 電 話 な ど)	そ の 他	相 談し てよ かつ た感 じ	誰 にも 相 談し な かつ た	(%) 無 回 答
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	7	42.9	85.7	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	60	66.7	58.3	18.3	35.0	26.7	0.0	15.0	11.7	1.7	8.3	1.7	0.0	0.0	3.3	5.0	3.3
30～34歳	134	64.2	54.5	23.1	42.5	40.3	0.7	11.9	12.7	1.5	14.2	0.0	0.7	0.0	3.0	3.7	0.0
35～39歳	163	54.6	41.7	17.2	38.7	31.3	0.6	15.3	15.3	1.8	12.3	0.0	1.2	0.0	5.5	5.5	1.2
40～44歳	74	51.4	35.1	18.9	45.9	27.0	0.0	12.2	10.8	0.0	9.5	1.4	2.7	0.0	8.1	6.8	1.4
45歳以上	5	40.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年齢別にみると、“25～29 歳” “30～34 歳” “35～39 歳” “40～44 歳” では、「配偶者、パートナー」が最も多くなっています。次いで“25～29 歳” “30～34 歳” “35～39 歳” では、「父母」、「40～44 歳」では、「友人・知人」が多くなっています。(表 2-8-1)

9. 食生活で実践していること

問7 食生活で実践していることについてお答えください。（複数回答可）

【図2-9 食生活で実践していること】



食生活で実践していることは、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が69.8%と最も多く、次いで「1日3食必ず食べる」が69.6%、「栄養のバランスを考える」が49.0%、「食事時間を規則正しくする」、「できるだけ家族そろって食べる」がそれぞれ42.2%、「子どもが自分で食べようとする意欲を大切にする」が37.0%となっています。（図2-9）

□年齢別

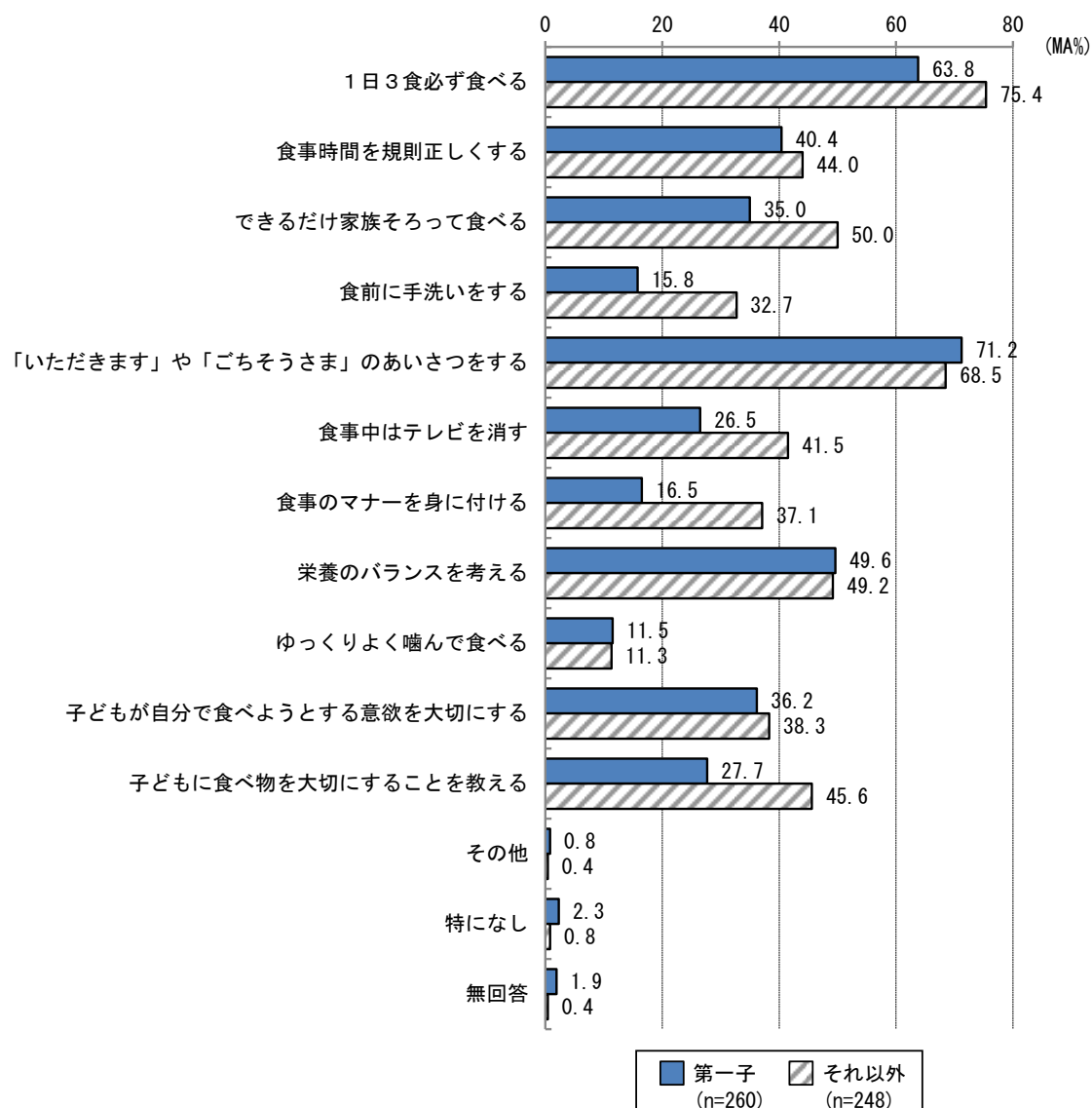
【表 2-9-1 年齢別 食生活で実践していること】

	n	1日3食必ず食べる	食事時間を規則正しくする	できるだけ家族そろって食べる	食前に手洗いをする	「いただきます」のあいさつをする	食事中はテレビを消す	食事のマナーを身に付ける	栄養のバランスを考える	ゆっくりよく噛んで食べる	子どもが自分で食べようとする意欲を大切に育む	子どもに食べ物を大切にすることを教える	その他	特になし	無回答
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	11	45.5	18.2	45.5	9.1	81.8	18.2	18.2	45.5	9.1	27.3	36.4	0.0	0.0	0.0
25～29歳	69	56.5	34.8	56.5	21.7	72.5	29.0	17.4	44.9	18.8	40.6	37.7	0.0	1.4	0.0
30～34歳	145	75.2	47.6	37.9	22.1	73.1	35.2	20.7	51.0	8.3	37.2	29.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳	183	77.0	45.4	39.3	26.2	66.7	35.5	34.4	51.4	10.9	38.3	35.5	0.0	1.1	0.0
40～44歳	84	60.7	41.7	42.9	31.0	66.7	34.5	27.4	50.0	14.3	35.7	47.6	3.6	4.8	1.2
45歳以上	9	66.7	11.1	55.6	0.0	88.9	11.1	33.3	22.2	0.0	11.1	55.6	0.0	11.1	0.0

年齢別にみると、“20～24 歳” “25～29 歳” “40～44 歳” “45 歳以上” では、「「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が最も多くなっています。“30～34 歳” “35～39 歳” では、「1 日 3 食必ず食べる」が最も多くなっています。（表 2-9-1）

□健診を受けた子の出生順別

【図 2-9-2 健診を受けた子の出生順別 食生活で実践していること】

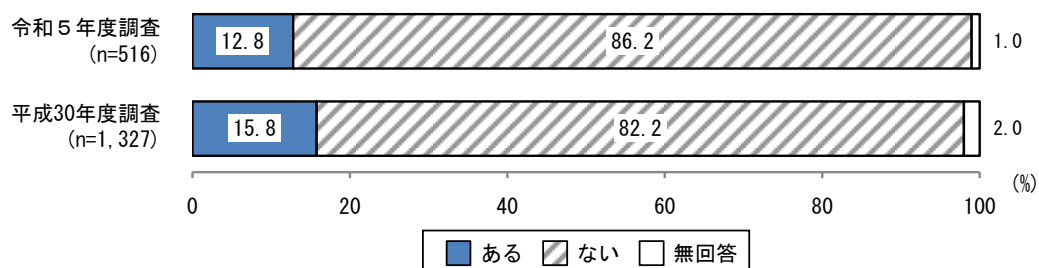


健診を受けた子の出生順別にみると、“第一子”は、「「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が最も多くなっています。“それ以外”では、「1日3食必ず食べる」が最も多くなっています。(図 2-9-2)

10. 子どもの食物アレルギーの有無

問 8 お子さまは、食べ物に関するアレルギーがあると言われたことがありますか。(○は1つ) ある場合は、医師による診断の有無を選択してください。

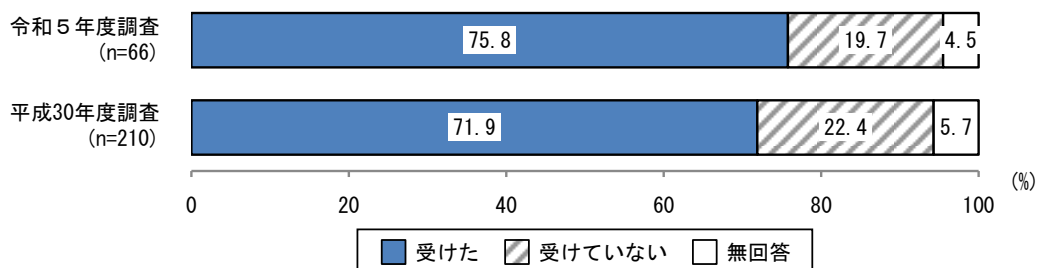
【図2-10 子どもの食物アレルギーの有無】



子どもの食物アレルギーの有無は、「ある」が12.8%、「ない」が86.2%となっています。
(図 2-10)

医師による診断有無

【図2-10-1 医師による診断有無】



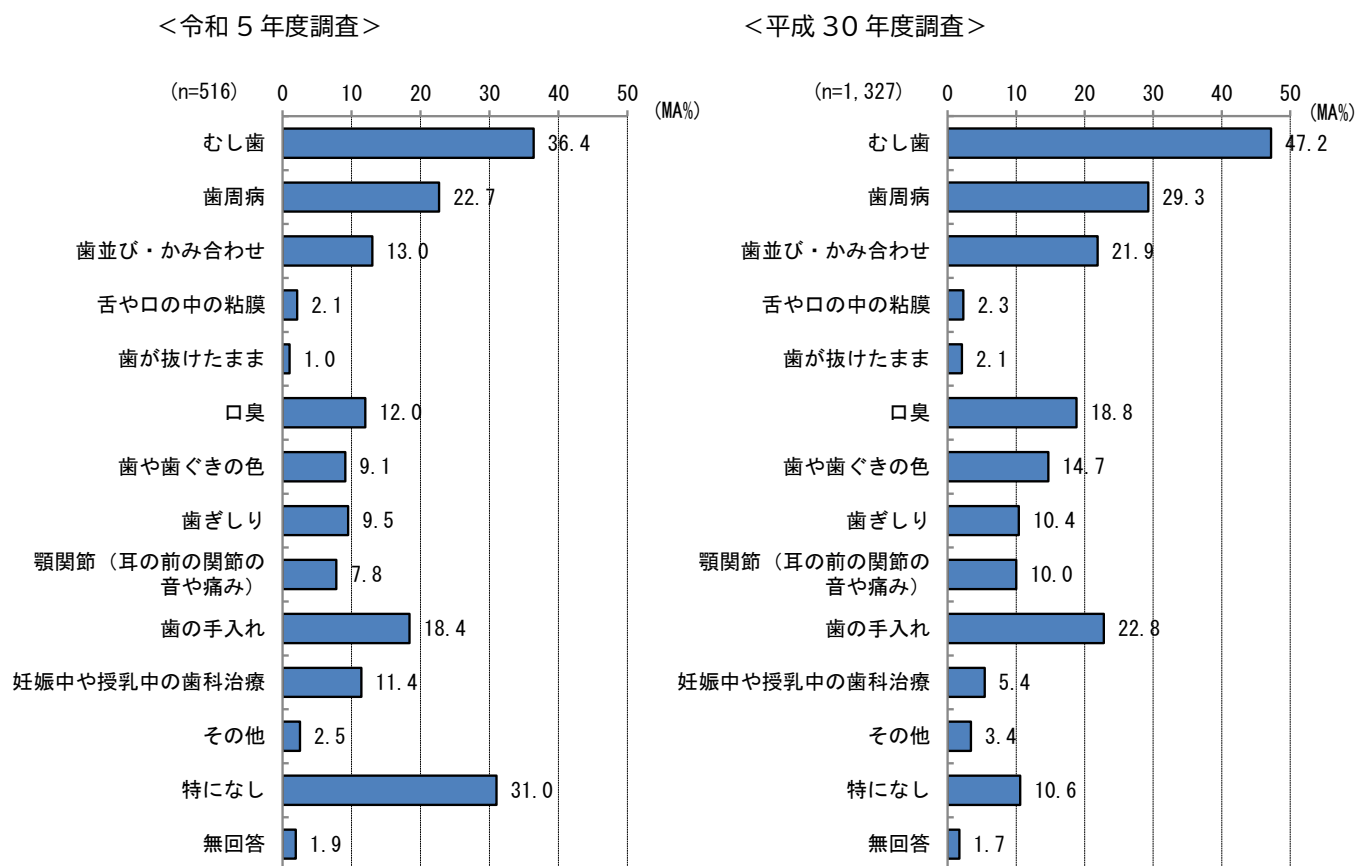
医師による診断有無は、「受けた」が75.8%、「受けていない」が19.7%となっています。
(図 2-10-1)

11. 妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になること

《出産された方にうかがいます。》

問 9 (1) 妊娠中はホルモンバランスの変化やつわり、食生活等の影響からむし歯や歯ぐきの炎症が起きやすいため、出産された方のお口の状況についてお聞きます。妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になることはありますか。(複数回答可)

【図2-11 妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になること】



※前回調査は3つまで回答可の設問

妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になることは、「むし歯」が 36.4%と最も多く、次いで「歯周病」が 22.7%、「歯の手入れ」が 18.4%、「歯並び・かみ合わせ」が 13.0%、「口臭」が 12.0%となっています。(図 2-11)

□年齢別

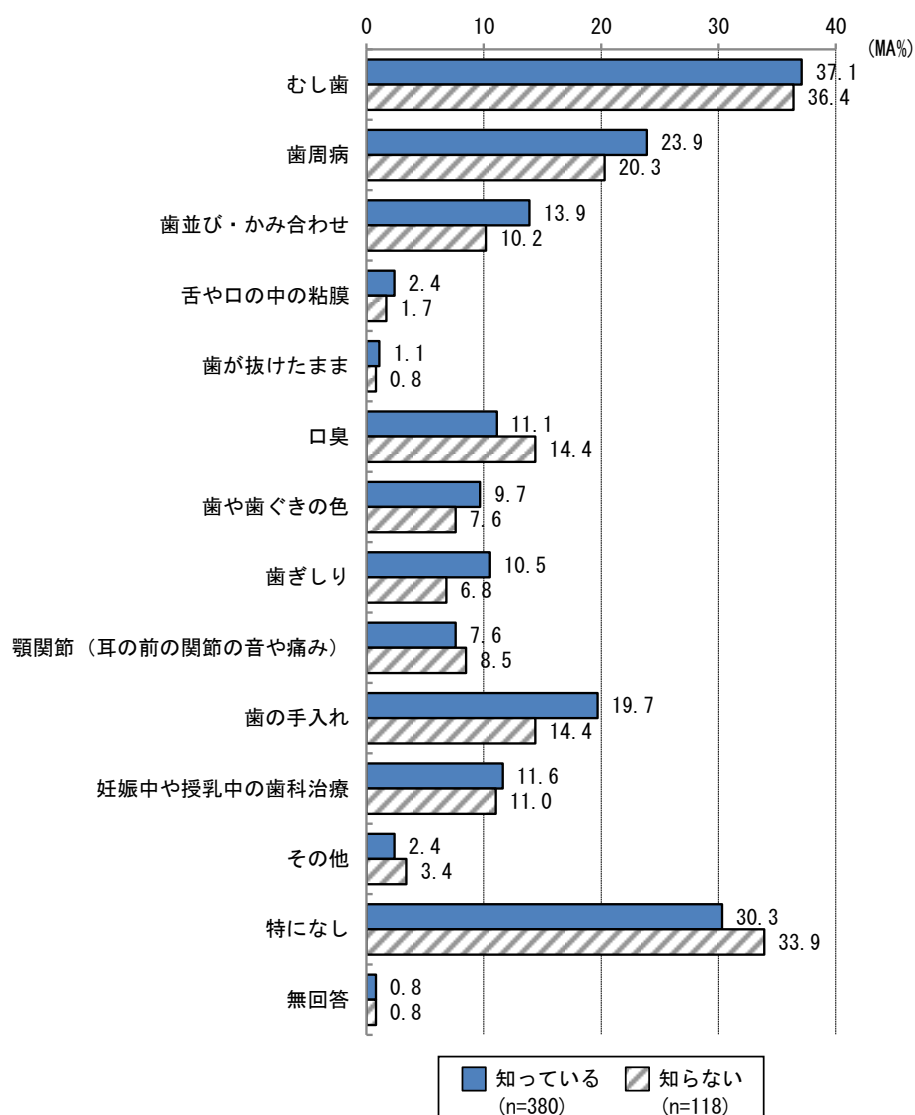
【表 2-11-1 年齢別 妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になること】

	n	むし歯	歯周病	歯並び・かみ合わせ	舌や口の中の粘膜	歯が抜けたまま	口臭	歯や歯ぐきの色	歯ぎしり	顎関節（耳の前の関節の音や痛み）	歯の手入れ	治療中や授乳中の歯科	その他	特になし	無回答
19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20～24歳	11	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0
25～29歳	69	40.6	20.3	15.9	0.0	0.0	10.1	8.7	13.0	10.1	8.7	15.9	0.0	37.7	0.0
30～34歳	145	40.0	26.2	15.9	4.8	0.0	13.1	10.3	7.6	9.0	17.2	8.3	4.8	24.8	0.7
35～39歳	183	35.0	19.1	11.5	1.6	1.6	10.9	8.7	10.4	4.4	21.9	12.0	1.6	31.1	1.1
40～44歳	84	36.9	31.0	11.9	1.2	2.4	15.5	8.3	9.5	13.1	21.4	13.1	3.6	34.5	0.0
45歳以上	9	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1

年齢別にみると、“19歳以下”を除いた年齢区分で、「むし歯」が最も多くなっています。次いで、“25～29歳”“30～34歳”“40～44歳”では、「歯周病」が、“35～39歳”では、「歯の手入れ」が多くなっています。（表 2-11-1）

□成人・妊婦歯科相談の認知度別

【図 2-11-2 成人・妊婦歯科相談の認知度別 妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になること】



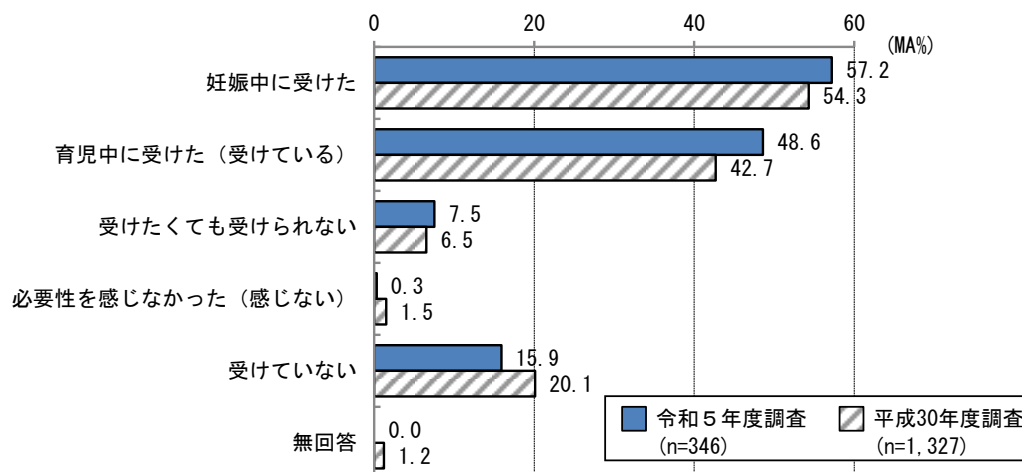
成人・妊婦歯科相談の認知度別にみると、“知っている”“知らない”のいずれも「むし歯」が最も多く、次いで「歯周病」が多くなっています。（図 2-11-2）

12. 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無

≪問 9 (1) で「1～12」のいずれかに答えた方にうかがいます。≫

問 9 (2) 妊娠中から現在まで、歯科健診・歯科治療を受けましたか。(複数回答可)

【図2-12 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無】



妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無は、「妊娠中に受けた」が57.2%と最も多く、次いで「育児中に受けた (受けている)」が48.6%となっています。一方「受けていない」は15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「育児中に受けた (受けている)」が5.9ポイント高くなっています。(図 2-12)

□年齢別

【表 2-12-1 年齢別 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無】

	n	妊娠中に受けた	育児中に受けた (受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった (感じない)	受けていない	無回答
19歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	5	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0
25～29歳	43	62.8	46.5	4.7	0.0	18.6	0.0
30～34歳	108	59.3	45.4	7.4	0.0	19.4	0.0
35～39歳	124	60.5	52.4	7.3	0.0	10.5	0.0
40～44歳	55	45.5	47.3	12.7	1.8	14.5	0.0
45歳以上	7	71.4	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0

年齢別にみると、“25～29歳” “30～34歳” “35～39歳” “45歳以上” では、「妊娠中に受けた」が最も多く、次いで「育児中に受けた (受けている)」が多くなっています。“40～44歳” では、「育児中に受けた (受けている)」が最も多く、次いで「妊娠中に受けた」が多くなっています。(表 2-12-1)

□気になること別

【表 2-12-2 気になること別 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無】

	n	妊 娠 中 に 受 け た	て 育 児 中 に 受 け た (受 け て い る)	な い 受 け た く て も 受 け ら れ な い	(感 じ な い) 必 要 性 を 感 じ な か っ た	受 け て い な い	(%) 無 回 答
むし歯	188	57.4	49.5	9.6	0.0	14.9	0.0
歯周病	117	59.8	50.4	11.1	0.0	13.7	0.0
歯並び・かみ合わせ	67	46.3	44.8	13.4	0.0	19.4	0.0
舌や口の中の粘膜	11	45.5	45.5	9.1	0.0	36.4	0.0
歯が抜けたまま	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
口臭	62	53.2	45.2	6.5	0.0	19.4	0.0
歯や歯ぐきの色	47	53.2	44.7	14.9	0.0	17.0	0.0
歯ぎしり	49	65.3	69.4	6.1	0.0	10.2	0.0
顎関節（耳の前の関節の音や痛み）	40	52.5	50.0	7.5	0.0	20.0	0.0
歯の手入れ	95	57.9	51.6	11.6	1.1	10.5	0.0
妊娠中や授乳中の歯科治療	59	69.5	54.2	3.4	0.0	10.2	0.0
その他	13	46.2	30.8	7.7	7.7	23.1	0.0
特になし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

歯と口で気になること別にみると、ほとんどの項目で「妊娠中に受けた」が最も多くなっています。“歯ぎしり”については、「育児中に受けた（受けている）」が最も多くなっています。（表 2-12-2）

□就労形態別

【表 2-12-3 就労形態別 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療の受診有無】

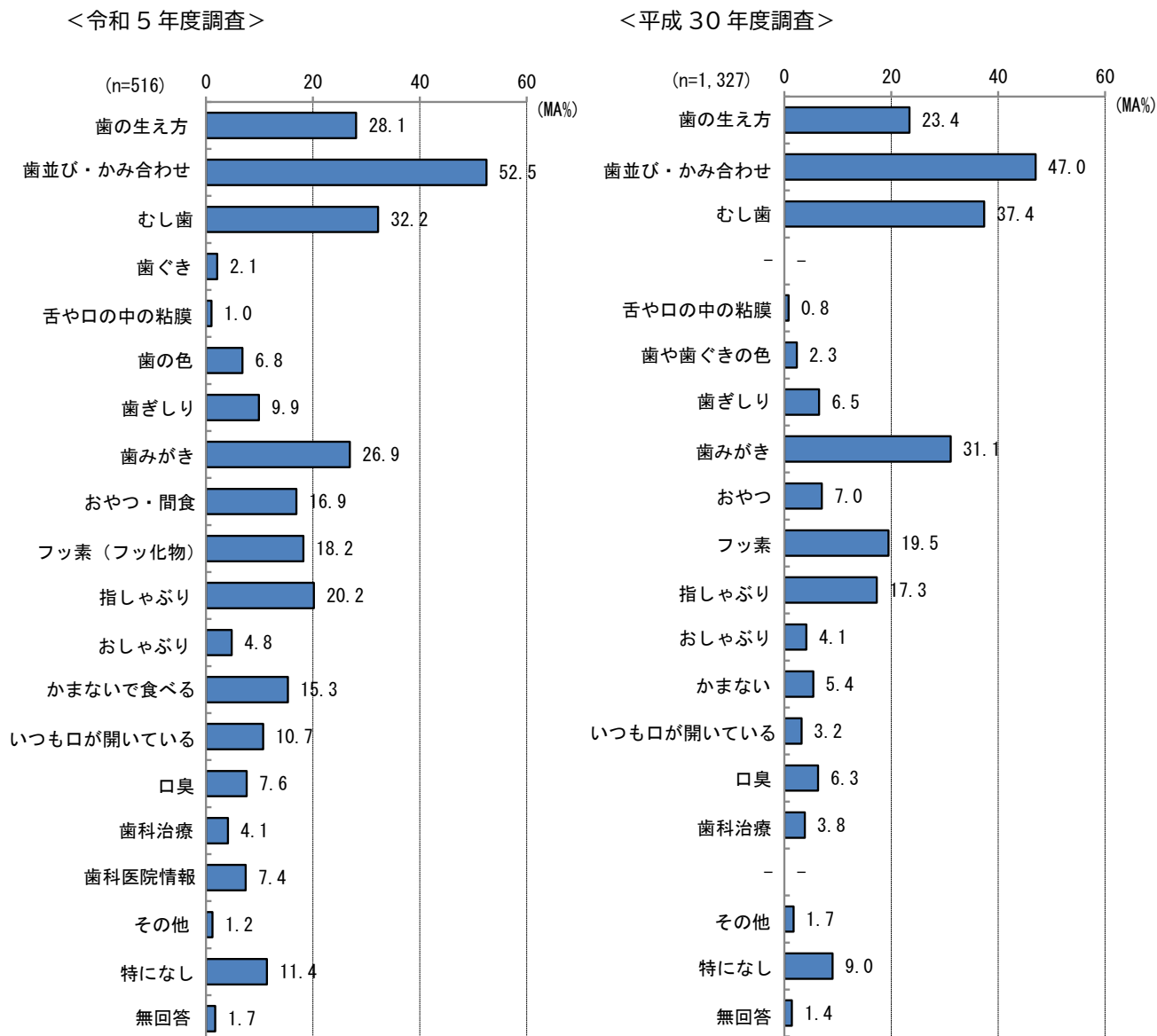
	n	妊 娠 中 に 受 け た	て 育 児 中 に 受 け た (受 け て い る)	な い 受 け た く て も 受 け ら れ な い	(感 じ な い) 必 要 性 を 感 じ な か っ た	受 け て い な い	(%) 無 回 答
働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）	106	59.4	50.9	8.5	0.0	15.1	0.0
働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）	39	35.9	48.7	10.3	2.6	20.5	0.0
育児休業中である	122	64.8	45.1	6.6	0.0	13.1	0.0
働いていない	75	53.3	52.0	6.7	0.0	17.3	0.0

就労形態別にみると、“働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）”を除く項目では、「妊娠中に受けた」が最も多くなっています。次いで「育児中に受けた（受けている）」が多くなっています。（表 2-12-3）

13. 子どもの歯と口で気になること

問10 お子さまの歯と口で知りたいことや気になることはありますか。(複数回答可)

【図2-13 子どもの歯と口で気になること】



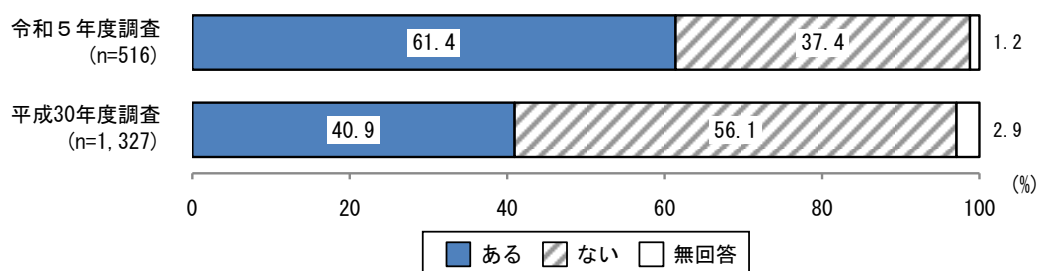
※前回調査は3つまで回答可の設問

子どもの歯と口で気になることは、「歯並び・かみ合わせ」が52.5%と最も多く、次いで「むし歯」が32.2%、「歯の生え方」が28.1%、「歯みがき」が26.9%、「指しゃぶり」が20.2%となっています。(図2-13)

14. 子どもの家庭内での事故の有無

問11(1) お子さまが家庭内での事故が起こった、もしくは事故が起こりそうになったことはありますか。(○は1つ)
 ※家庭内での事故とは、転落、衝突、やけど、誤飲、溺（おぼ）れる、挟（はさ）む、切る・刺すなどを指します。

【図2-14 子どもの家庭内での事故の有無】



子どもの家庭内での事故の有無は、「ある」が61.4%、「ない」が37.4%となっています。前回調査と比較すると、「ある」が20.5ポイント高くなっています。(図2-14)

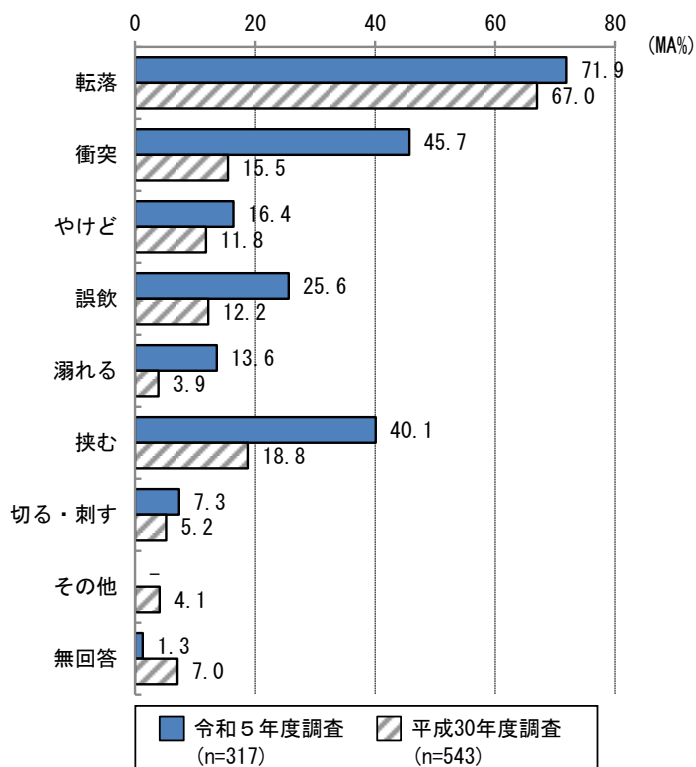
15. 場所や原因

「問11(1)で「1. ある」と答えた方にうかがいます。」

問11(2) その内容及び時期、場所と原因と思われるものは何ですか。(複数回答可)

①家庭内で起こった事故の内容

【図2-15① 家庭内で起こった事故の内容】



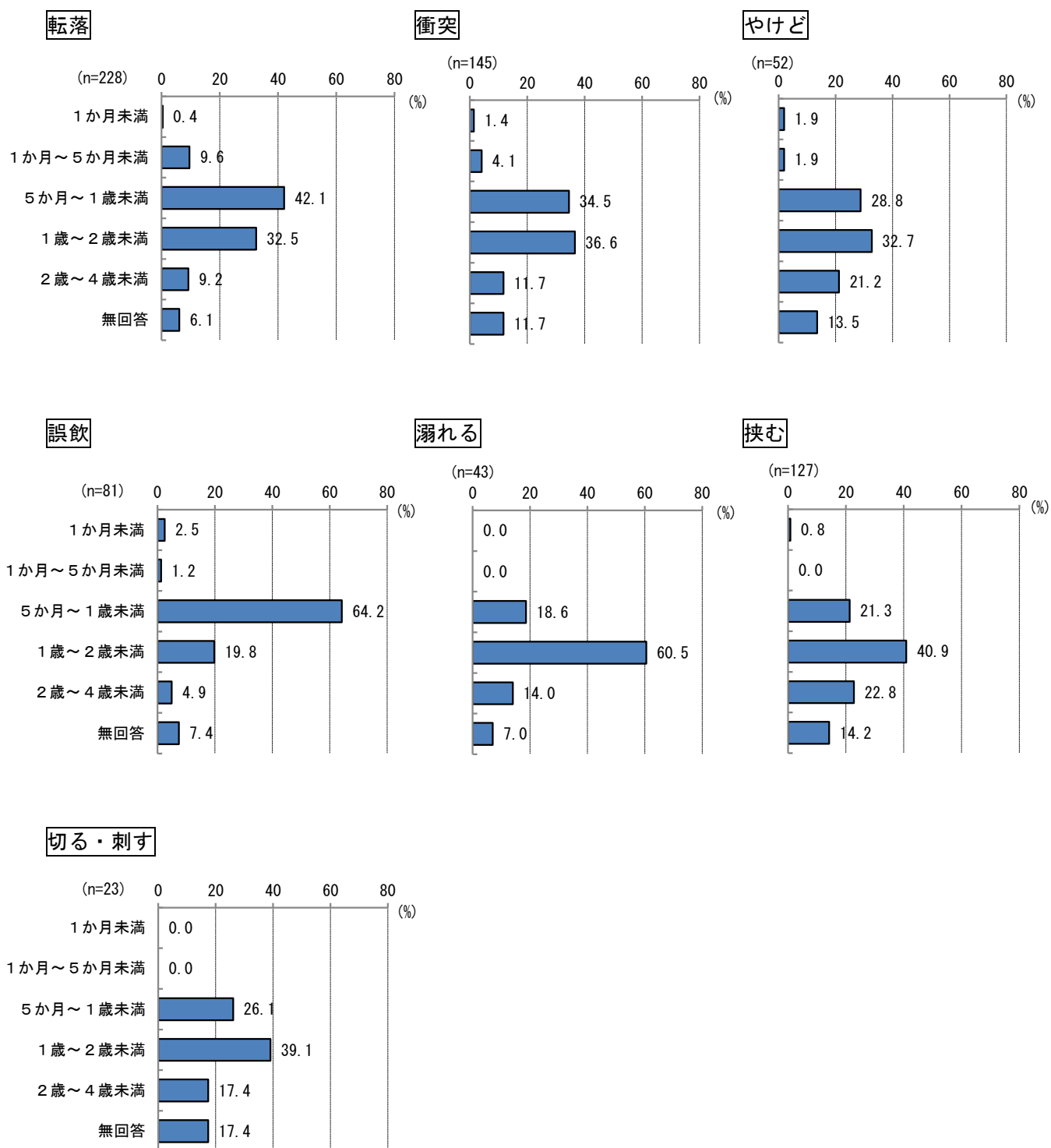
※『その他』は、前回調査のみの選択肢。

子どもが家庭内で起こった事故の内容は、「転落」が 71.9%と最も多く、次いで「衝突」が 45.7%、「挟む」が 40.1%、「誤飲」が 25.6%、「やけど」が 16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「衝突」が 30.2 ポイント、「挟む」が 21.3 ポイント高くなっています。(図 2-15①)

②事故の内容ごとの発生時期

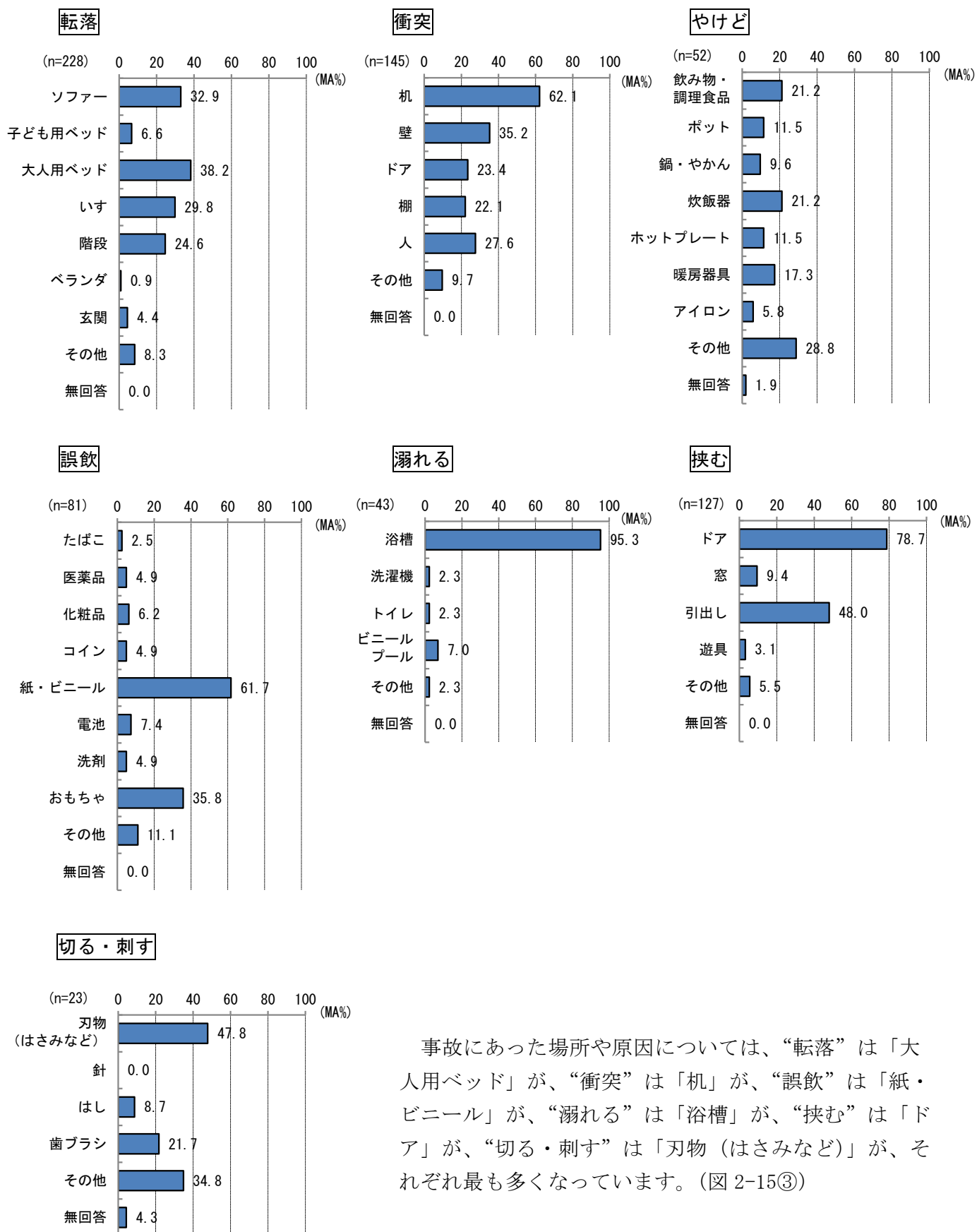
【図2-15② 事故の内容ごとの発生時期】



事故にあった年齢について、“転落”と“誤飲”は「5か月～1歳未満」が最も多く、それ以外の事後では「1歳～2歳未満」が最も多くなっています。(図2-15②)

③事故の内容ごとの発生場所や原因

【図2-15③ 事故の内容ごとの発生場所や原因】

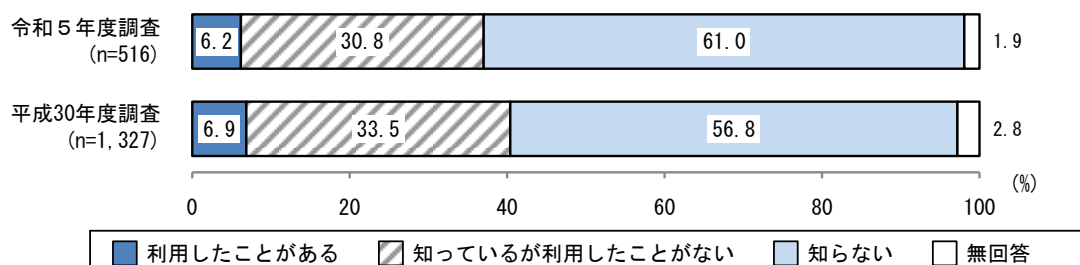


事故にあった場所や原因については、“転落”は「大人用ベッド」が、“衝突”は「机」が、“誤飲”は「紙・ビニール」が、“溺れる”は「浴槽」が、“挟む”は「ドア」が、“切る・刺す”は「刃物（はさみなど）」が、それぞれ最も多くなっています。（図 2-15③）

16. 京あんしん子ども館の認知度と利用有無

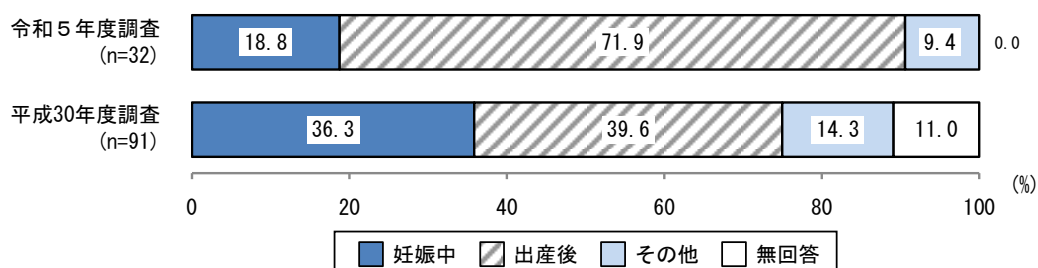
問12 京（みやこ）あんしん子ども館（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）
利用したことがある場合は、その時期を選択してください。

【図2-16 京あんしん子ども館の認知度と利用有無】



京あんしん子ども館の認知度と利用有無は、「知らない」が61.0%と最も多く、次いで「知っているが利用したことがない」が30.8%、「利用したことがある」が6.2%となっています。（図 2-16）

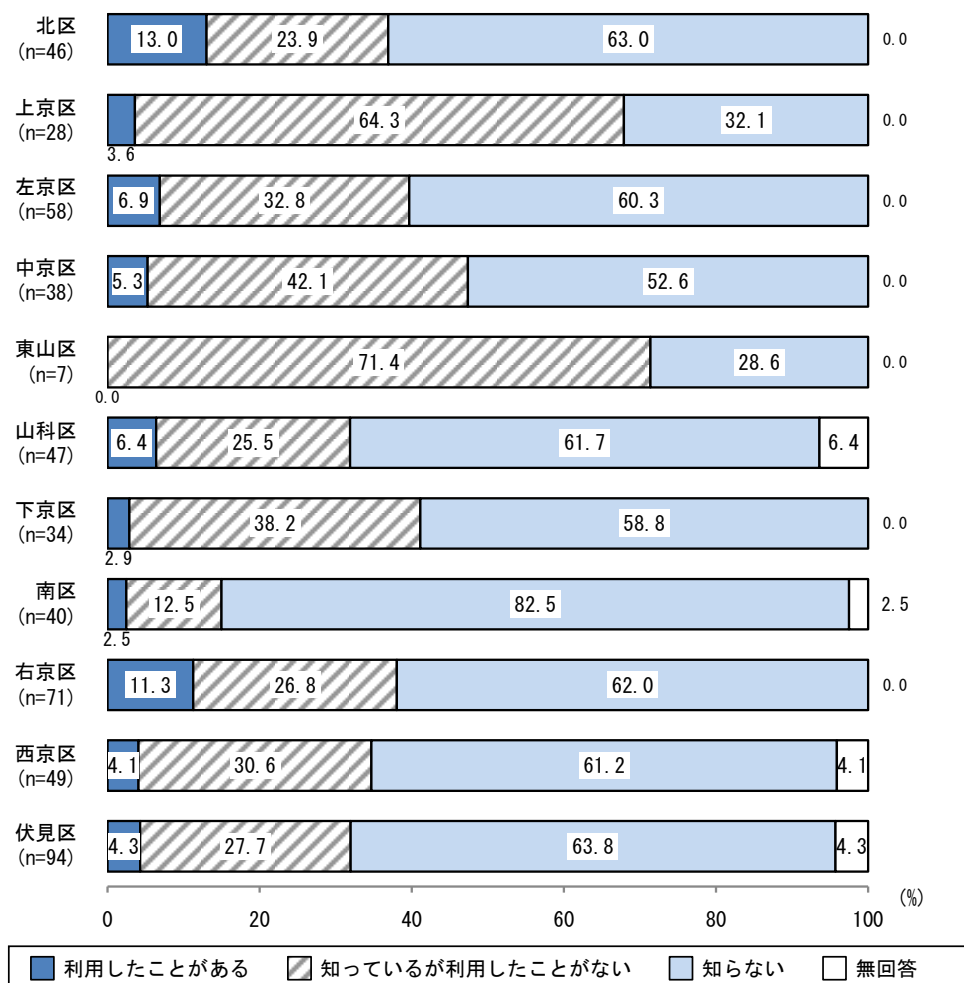
【図2-16-1 利用時期】



利用したことがある人の利用時期は、「出産後」が71.9%と最も多く、次いで「妊娠中」が18.8%となっています。（図 2-16-1）

□居住区別

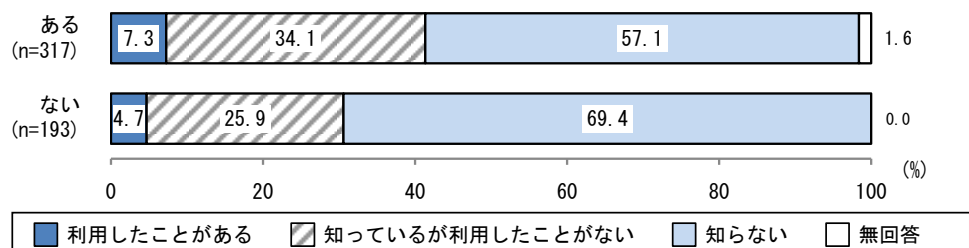
【図2-16-2 居住区別 京あんしんこども館の認知度と利用有無】



居住区別にみると、“上京区”と“東山区”では「知っているが利用したことがない」が最も多く、それ以外の区では「知らない」が最も多くなっています。(図 2-16-2)

□家庭内での事故有無別

【図2-16-3 家庭内での事故有無別 京あんしんこども館の認知度と利用有無】



子どもの家庭内での事故の有無別にみると、事故の有無にかかわらず、「知らない」が最も多くなっています。(図 2-16-3)

3 妊娠・子育てに関連するサービス等の利用状況について

1. 京都の各サービス

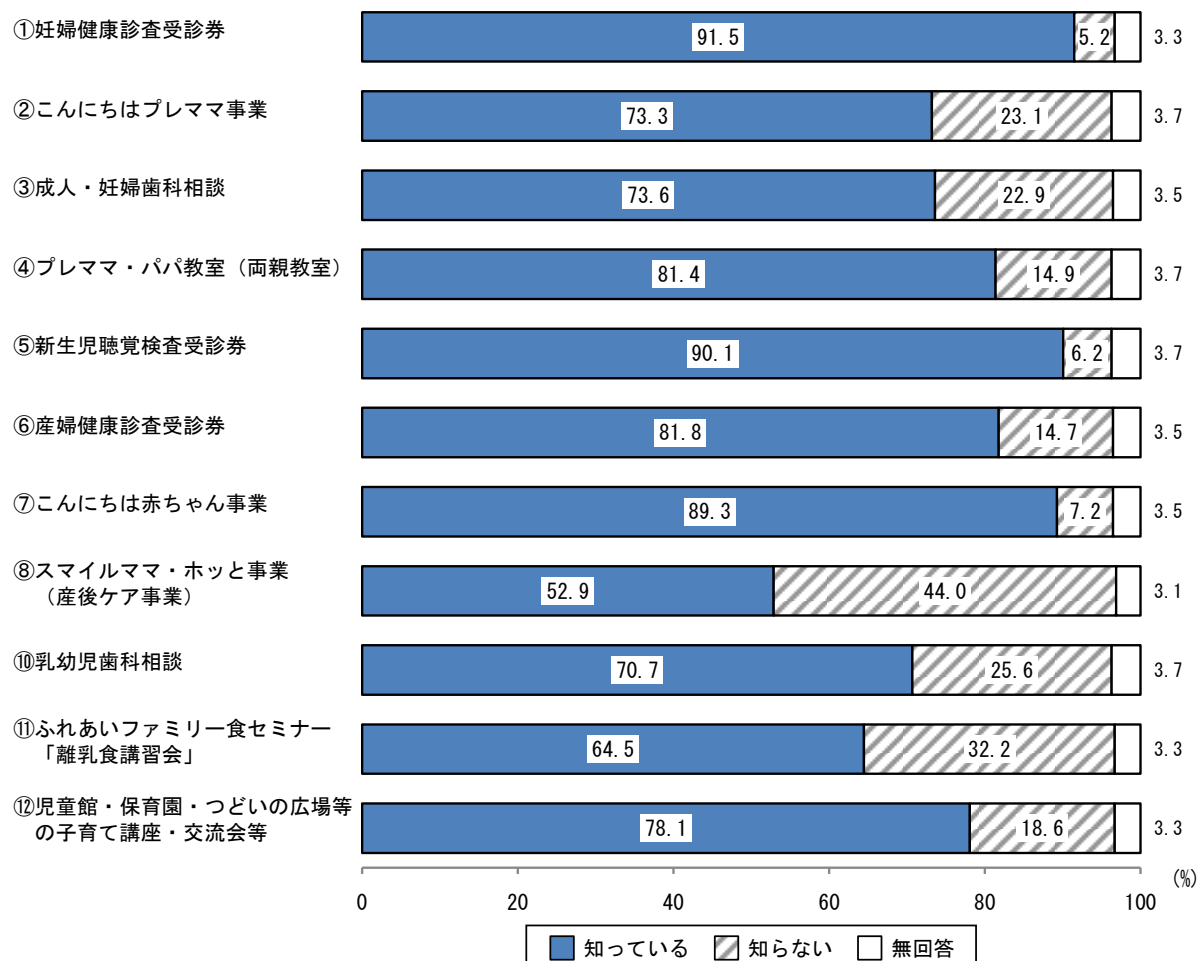
問13 京都市の各サービスについてお答えください。

- ・「Ⅰ 知らない」場合は、1に「○」をつけてください
- ・「Ⅱ 利用したことがある」場合は、満足度を2～4から選んでください（○は1つ）。
- ・「Ⅲ 知っているが利用したことがない」場合は、理由を5～9から選んでください（複数回答可）。

①認知度

【図3-1① 妊娠・子育てに関するサービス等の認知度】

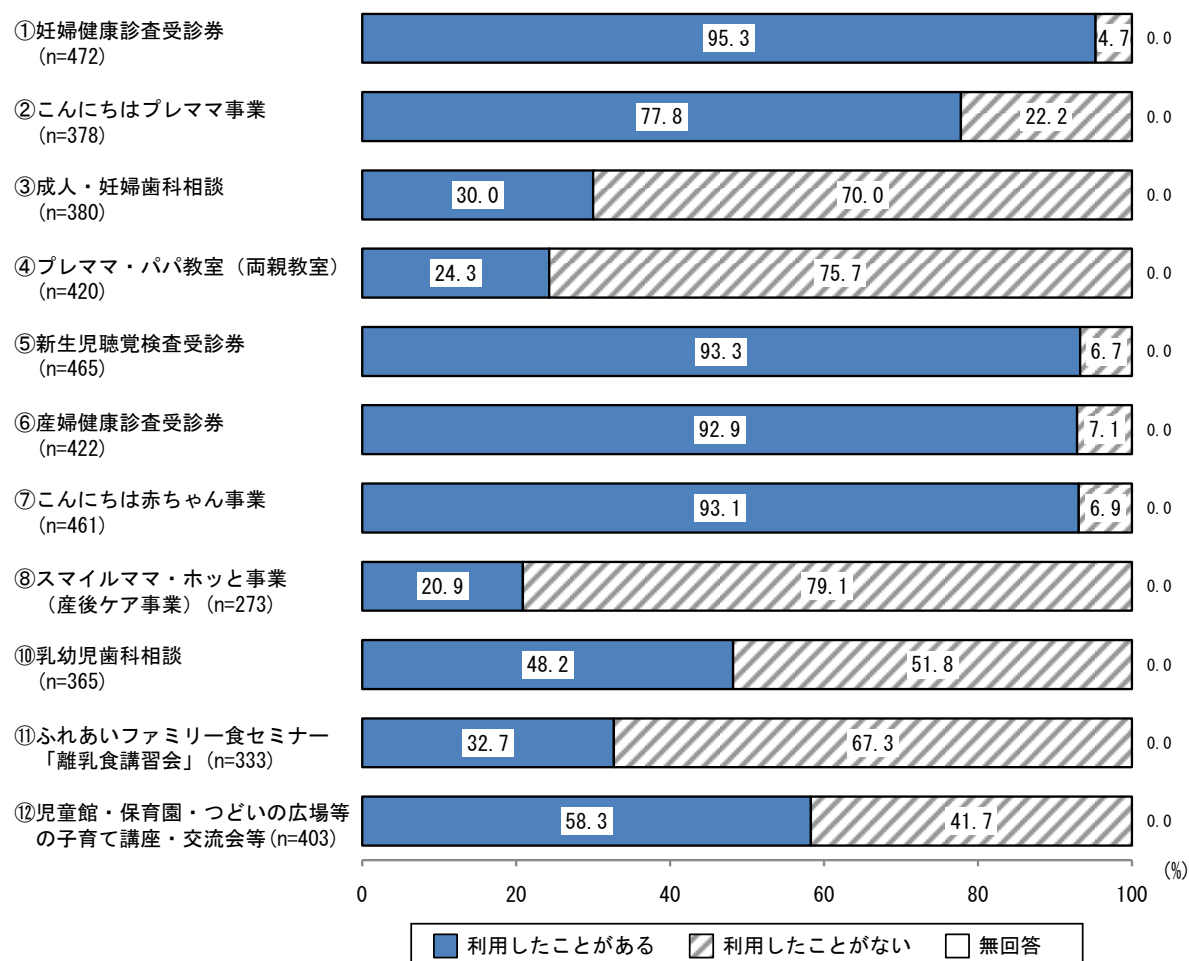
(n=516)



妊娠・子育てに関するサービス等の認知度について、「知っている」割合は〔①妊婦健康診査受診券〕が91.5%と最も高く、次いで〔⑤新生児聴覚検査受診券〕が90.1%、〔⑦こんにちは赤ちゃん事業〕が89.3%、〔⑥産婦健康診査受診券〕が81.8%、〔④プレママ・パパ教室（両親教室）〕が81.4%となっており、全てのサービス等において、半数以上の方が認知されています。（図3-1-1）

②利用有無

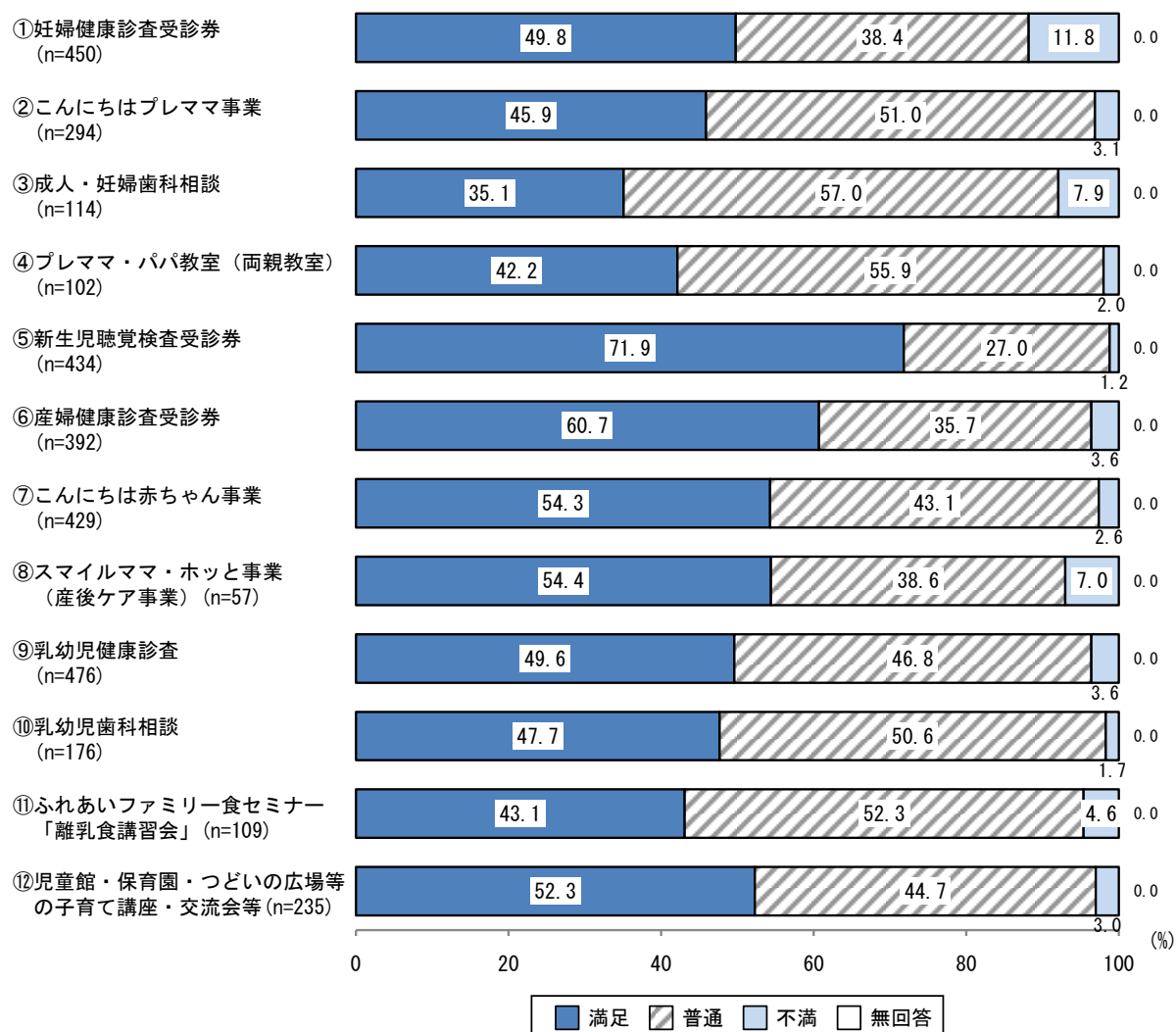
【図3-1② 妊娠・子育てに関するサービス等の利用有無】



妊娠・子育てに関するサービス等の利用有無について、「利用したことがある」割合は、〔①妊婦健康診査受診券〕が95.3%、〔⑤新生児聴覚検査受診券〕が93.3%、〔⑦こんにちは赤ちゃん事業〕が93.1%、〔⑥産婦健康診査受診券〕が92.9%と、9割台となっています。（図3-1②）

③満足度

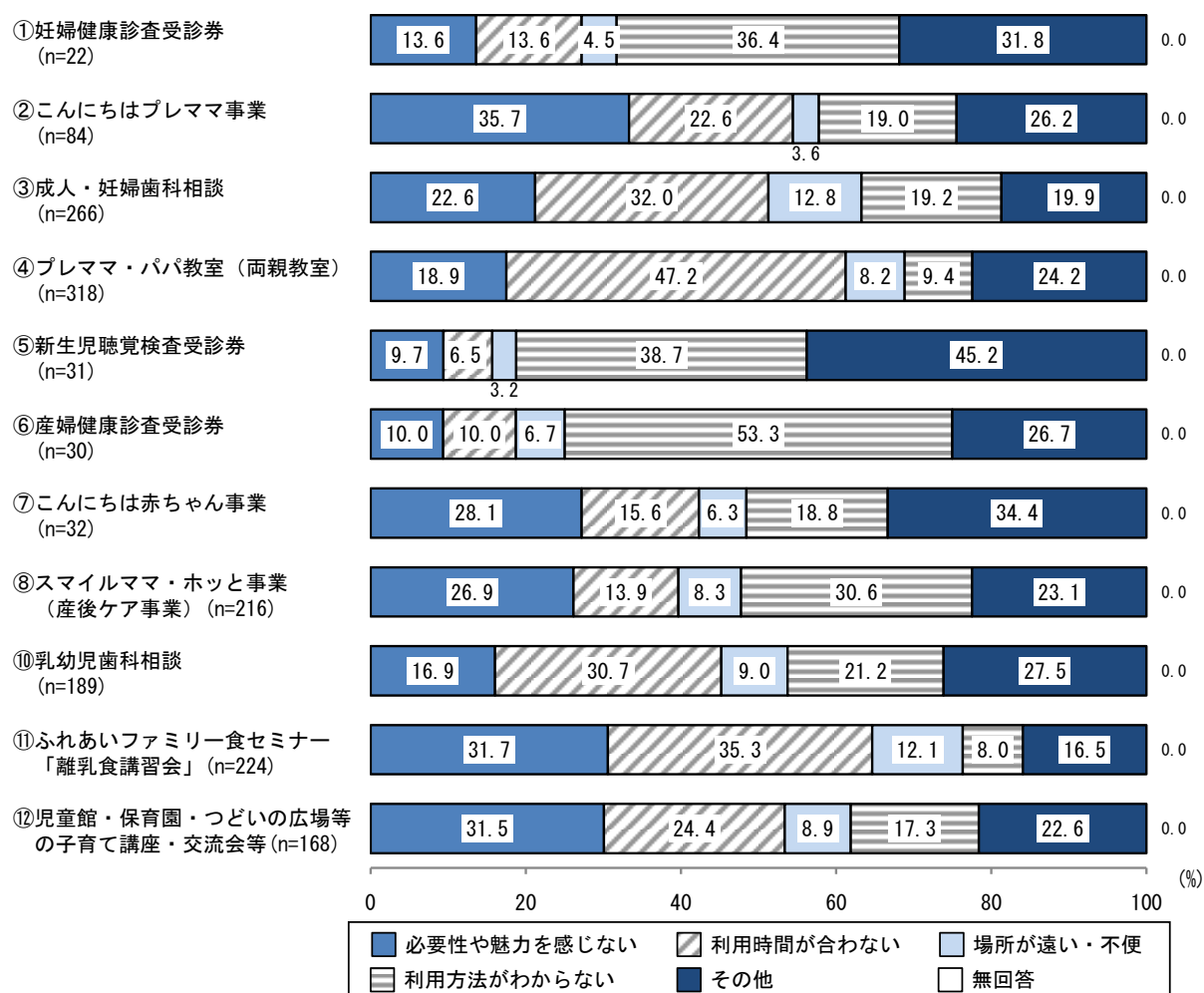
【図3-1③ 妊娠・子育てに関するサービス等の満足度】



妊娠・子育てに関するサービス等の満足度について、「満足」の割合は、〔⑤新生児聴覚検査受診券〕が71.9%、〔⑥産婦健康診査受診券〕が60.7%、〔⑧スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）〕が54.4%、〔⑦こんにちは赤ちゃん事業〕が54.3%、〔⑫児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等〕が52.3%と5割以上となっています。（図3-1③）

④知っているが利用したことがない理由

【図3-1④ 妊娠・子育てに関するサービス等を知っているが利用したことがない理由】



サービス等を知っているが利用したことがない理由について、〔②こんにちはプレママ事業〕、〔⑦こんにちは赤ちゃん事業〕、〔⑫児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等〕では「必要性や魅力を感じない」が多くなっています。

〔③成人・妊婦歯科相談〕、〔④プレママ・パパ教室（両親教室）〕、〔⑩乳幼児歯科相談〕、〔⑪ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」〕では「利用時間が合わない」が多くなっています。

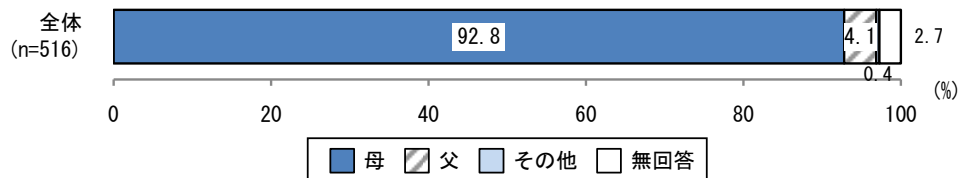
〔①妊婦健康診査受診券〕、〔⑤新生児聴覚検査受診券〕、〔⑥産婦健康診査受診券〕、〔⑧スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）〕では「利用方法がわからない」が多くなっています。（図3-1④）

4 回答者の状況について

1. 回答者の続柄

問14 この調査票を回答された方（以下「回答者」という。）とお子さまの続柄をお答えください。（○は1つ）

【図4-1 回答者の続柄】

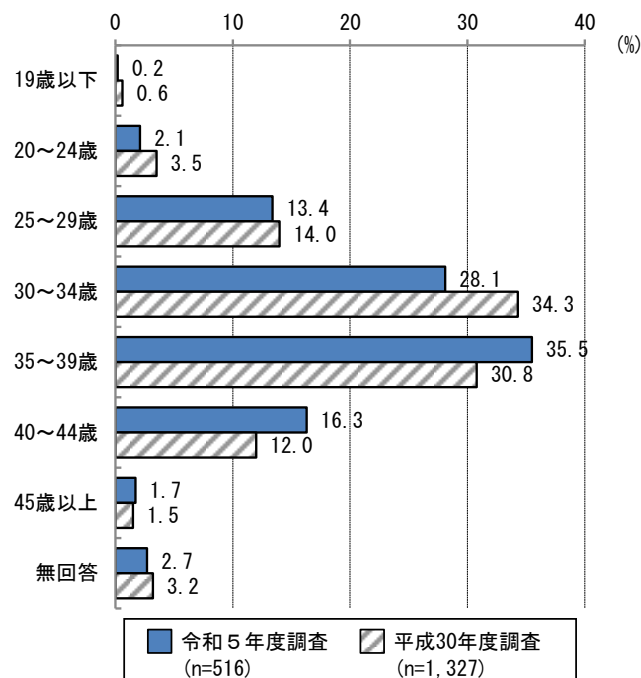


回答者の続柄は、「母」が 92.8%、「父」が 4.1%となっています。（図 4-1）

2. 回答者の現在の年齢

問15 回答者の現在の年齢をお答えください。（○は1つ）

【図4-2 回答者の現在の年齢】

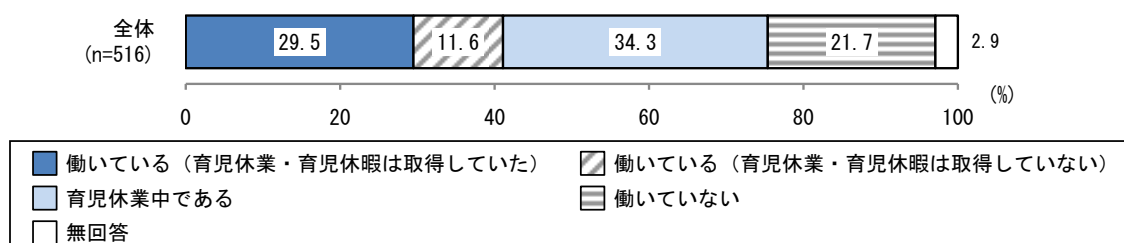


回答者の現在の年齢は、「35～39 歳」が 35.5%と最も多く、次いで「30～34 歳」が 28.1%、「40～44 歳」が 16.3%、「25～29 歳」が 13.4%、「20～24 歳」が 2.1%となっています。（図 4-2）

3. 回答者の就労状況

問16(1) 現在、回答者は働いていますか。(○は1つ)

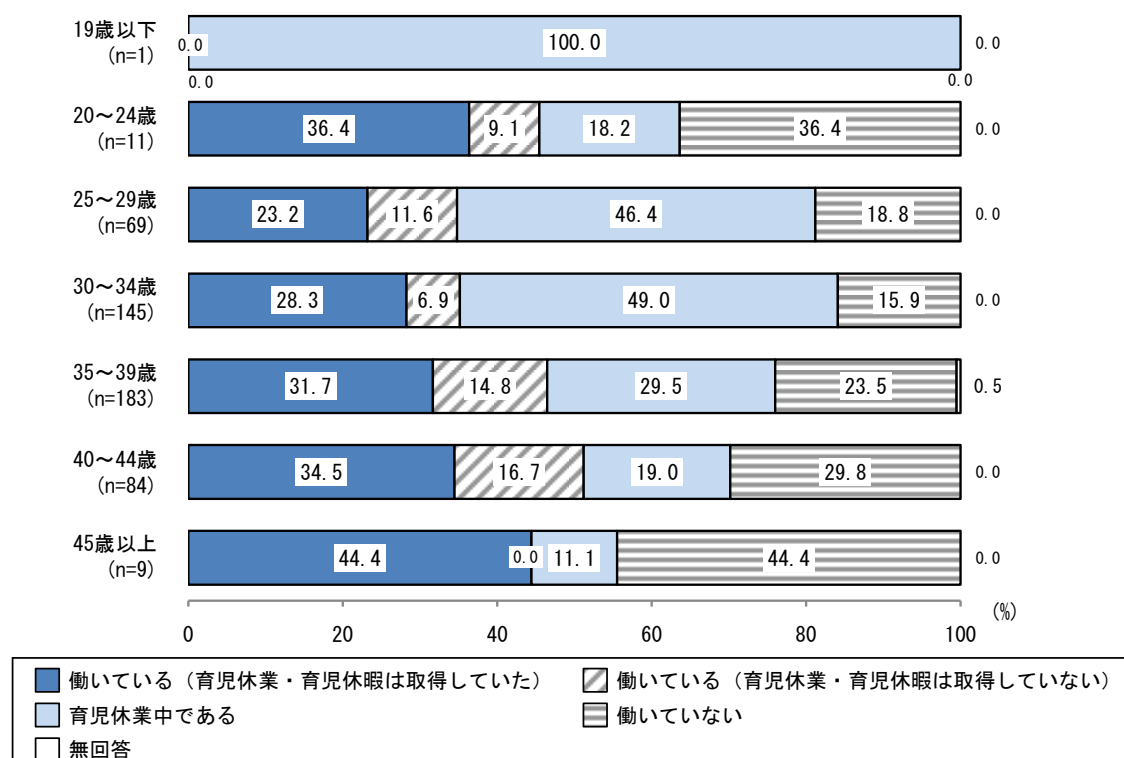
【図4-3 回答者の就労状況】



回答者の就労状況は、「育児休業中である」が34.3%と最も多く、次いで「働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）」が29.5%、「働いていない」が21.7%、「働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）」が11.6%となっています。（図4-3）

□年齢別

【図4-3-1 年齢別 回答者の就労状況】



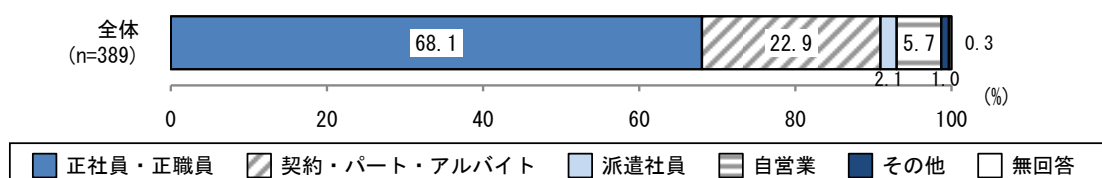
年齢別にみると、「25～29歳」「30～34歳」は「育児休業中である」が最も多くなっています。「35～39歳」「40～44歳」は、「働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）」が最も多くなっています。（図4-3-1）

4. 回答者の就労形態

「問16(1)で「1」または「2」、「3」と答えた方にうかがいます。」

問16(2) 回答者の就労形態についてお答えください。(○は1つ)

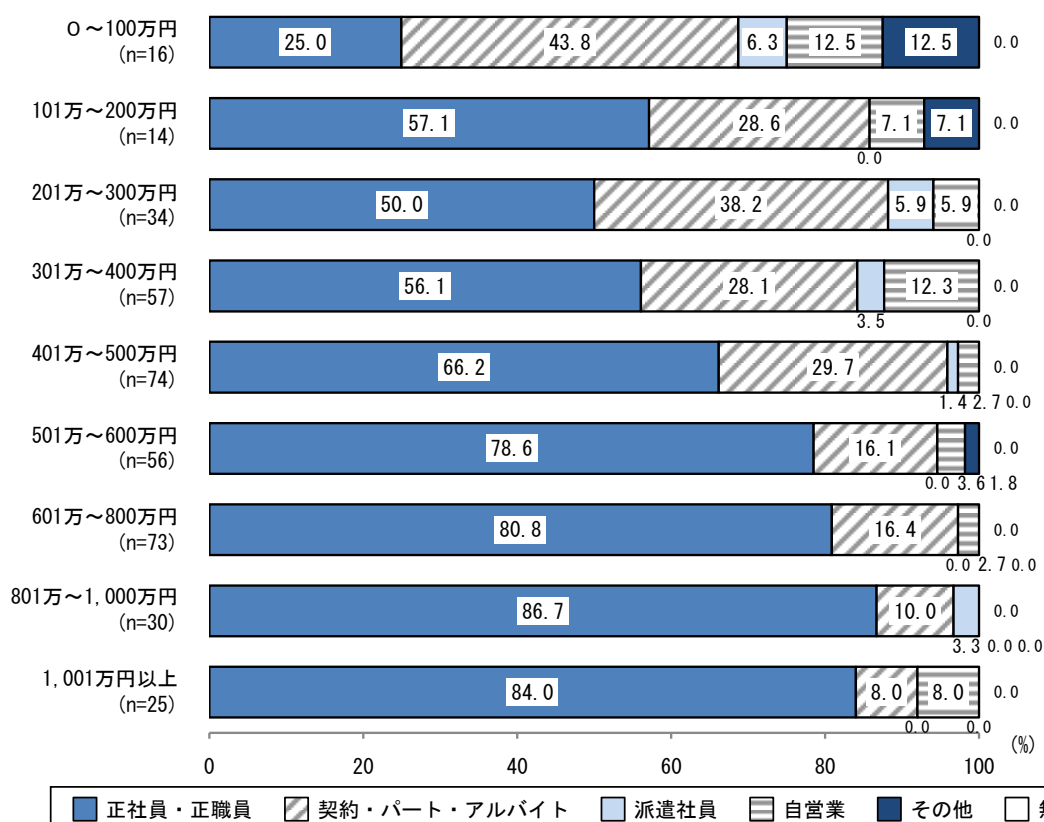
【図4-4 回答者の就労形態】



回答者の就労形態は、「正社員・正職員」が68.1%と最も多く、次いで「契約・パート・アルバイト」が22.9%、「自営業」が5.7%となっています。(図4-4)

□可処分所得別

【図4-4-1 可処分所得別 回答者の就労形態】

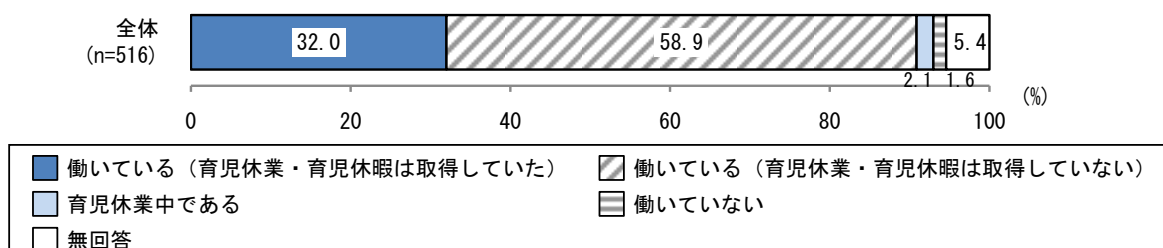


可処分所得別にみると、“0～100万円”を除いたすべての区分で、「正社員・正職員」が最も多くなっています。(図4-4-1)

5. 配偶者、パートナーの就労状況

問17(1) 配偶者、パートナーがいらっしゃる方にうかがいます。配偶者、パートナーは働いていますか。

【図4-5 配偶者、パートナーの就労状況】



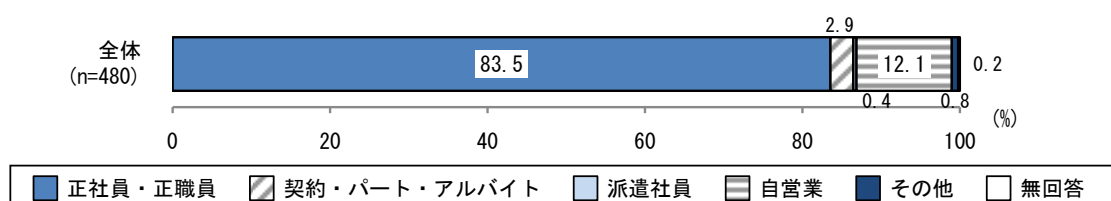
配偶者、パートナーの就労状況は、「働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）」が58.9%と最も多く、次いで「働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）」が32.0%、「育児休業中である」が2.1%、「働いていない」が1.6%となっています。（図4-5）

6. 配偶者、パートナーの就労形態

「問17(1)で「1～3」と答えた方にうかがいます。」

問17(2) 配偶者、パートナーの就労形態についてお答えください。（○は1つ）

【図4-6 配偶者、パートナーの就労形態】

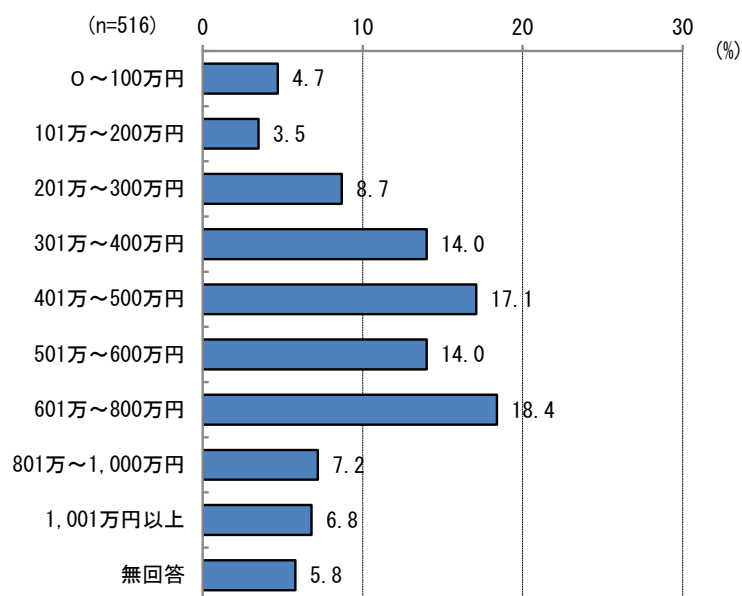


配偶者、パートナーの就労形態は、「正社員・正職員」が83.5%と最も多く、次いで「自営業」が12.1%、「契約・パート・アルバイト」が2.9%となっています。（図4-6）

7. 可処分所得態

問18 回答者の世帯の昨年1年間（令和4年1月1日～12月31日）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（○は1つ）

【図4-7 可処分所得】



可処分所得は、「601 万～800 万円」が 18.4%と最も多く、次いで「401 万～500 万円」が 17.1%、「301 万～400 万円」、「501 万～600 万円」がそれぞれ 14.0%となっています。（図 4-7）

5 自由記述

本アンケートや行政に期待する支援施策に関すること等で、ご意見がございましたらご記入ください。

カテゴリー	主な御意見
保育園	・ 保育料負担を軽減してほしい。 ・ ニーズに合った保育園が少ない。 ・ 特定の保育園に人気が集中している。 ・ 保育施設への補助を充実させてほしい。 など
健診	・ 妊婦健診の費用は全て無料にしてほしい。 ・ 乳児健診の時間を午前にしてほしい。 など
産後ケア	・ 産後ケアの申し込みのために区役所に行くのが手間だ。 ・ 産後ケアのサポートを皆が身近に受けられるようにしてほしい。 など
子育て環境	・ 土地や賃料が高額で住み続けられない。 ・ 役所で子育ての相談をしても解決しなかった。 ・ 丁寧に相談をきいてくれる場所・機会が欲しい。 ・ 多胎児への支援が足りない。 など

Ⅲ. 参考資料(調査票)

妊娠・出産・子育て（乳児期～幼児期）に
関する意識調査

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、京都市では、妊娠・出産・子育て（乳児期～幼児期）に関する支援施策をさらに推進
していくため、一定期間に乳幼児健康診査を受診されたお子さまの保護者の方から無作為に選ばせ
ていただき、アンケート調査を実施することとなりました。

回答は、以下二次コードを読み取りのうえご入力いただくか、同封の用紙にご記入ください。

この調査は、妊娠・出産に対する意識やご家庭での育児の状況、妊娠・出産・子育て（乳児期～幼
児期）に関する主な行政サービスへのご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の妊娠・出産・子
育て（乳児期～幼児期）施策等の充実に向けた基礎資料とするために行う、非常に重要なものです。
なお、無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわかりませんようになっています。
また、回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することはありません。
大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年12月

京都市長 門川大作

回答にあたってのお願い

- このアンケートは、お子さまを養育されている方がご回答ください。
- 設問により、回答数が異なります。
- 設問により、回答いただく方が限られています。
- 「その他」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご回答ください。
- 回答しづらい質問については空欄としてください。
- アンケートの締切日は、「令和5年12月25日」となっております。
- 同封の用紙で回答された場合は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに
ご投函ください。
- アンケート結果は、令和6年4月以降に、京都市ホームページにおいて公表する予定です。

◎本調査は、WEB回答でも受け付けております。スマホ・パソコン・タブレットで下記二次コ
ードより入ってください。ID・パスワードを入力の上、回答をお願いします。

◆WEB専用回答ページ



<https://en.surece.co.jp/2023kyoto4/>

ID

パスワード

※ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。

【問合せ先・返送先】

株式会社サードパーティリサーチセンター大阪事務所
フリーダイヤル：0120-186-189
受付時間：月～金曜日（土曜・日曜・祝日除く） 午前9時～午後5時

- 48 -

お子さまの状況について

問1 (1) 令和5年度中に乳幼児健康診査を受けられたお子さまの年齢をお答えください。(令和5年度中に乳幼児健康診査を受けられたお子さまが2人以上いる場合は、直近で受けたお子さまの年齢をお答えください。)(○は1つ)

1. 4か月～8か月未満 2. 8か月～1歳未満 3. 1歳～2歳未満
4. 2歳～3歳未満 5. 3歳以上

問1 (2) 問1 (1)に該当のお子さまは兄弟姉妹の何人中何番目のお子さまですか。

() 人中 () 番目の子ども

問2 現在のお住まいの区をお答えください。

() 区

妊娠・出産・子育てについて

問3 (1) 不妊について悩んだことはありませんか。(○は1つ)

1. ある ⇒問3 (2)へ 2. ない ⇒問4 (1)へ

※問3 (1)で「1」と答えた方にうかがいます。※

問3 (2) その悩みについて、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

1. 配偶者、パートナー 2. 父母 3. 兄弟・姉妹 4. 友人・知人
5. 病院・医院・助産院 (助産師) 6. 区役所・支所子どもはぐくみ室等
7. 同じ悩みを持つ自助グループ 8. にしんホッとナビ
9. すずらん相談・交流会 10. インターネット (質問サイト、SNSなど)
11. その他 () 12. 相談してよかったと感じた相談先はなかった
13. 誰にも相談しなかった

問4 (1) 妊娠中、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがありますか。(○は1つ)

1. よくあった 2. 時々あった 3. なかった ⇒問5へ

※問4 (1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。※

問4 (2) その悩みや不安について、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

1. 配偶者、パートナー 2. 父母 3. 兄弟・姉妹 4. 友人・知人
5. 病院・医院・助産院 (助産師) 6. 薬局・薬剤師
7. 区役所・支所子どもはぐくみ室等 8. 子育て支援施設 (保育園・幼稚園・児童館など)
9. インターネット (質問サイト、SNSなど) 10. 電話相談 (子育て電話相談など)
11. その他 () 12. 相談してよかったと感じた相談先はなかった
13. 誰にも相談しなかった

問5 妊娠中に知っておくと、役に立つと思うことについてお答えください。(複数回答可)

1. 妊娠から出産までの流れ 2. 妊娠中や産後の食生活や健康管理のこと
3. 新生児の育児の仕方 4. 子どもの発達や成長の仕方
5. 乳幼児健診や予防接種 6. 子どもの病院のこと (休日・夜間含む)
7. 母乳育児に関すること 8. 子どもの事故防止対策
9. 配偶者、パートナーが育児の仕方や役割を学んでおくこと
10. 上の子どもとの関わり方 11. 出産までに準備すべき育児用品
12. 京都市の子育て支援サービス 13. 保育園など子どもの預け先
14. 出産や子育てに関する手続き 15. 育児の不安や悩みに対する相談機関
16. その他 () 17. 特になし

問6 (1) 育児期間の中で、悩みや不安が大きかった時期はいつですか。(複数回答可)

1. 1か月未満 2. 1か月～5か月未満 3. 5か月～1歳未満
4. 1歳～2歳未満 5. 2歳～4歳未満 ⇒問6 (2) (3)へ
6. 特になかった ⇒問7へ

※問6 (1)で「1～5」と答えた方にうかがいます。※

問6 (2) 問6 (1)で悩みや不安が大きいと回答したそれぞれの時期の悩みや不安はどんなことでしたか。(それぞれ3つまで回答)

1. 1か月未満 2. 1か月～5か月未満
3. 5か月～1歳未満 4. 1歳～2歳未満
5. 2歳～4歳未満

【選択肢】

1. 子どもの発達 (体重の増えなど) 2. 子どもの病気 3. 授乳
4. 子どもが泣き止まない 5. 産後の母の気持ちやからだの調子のこと
6. 子どもの運動面の発達 (首のすわり、おすわり、ハイハイ、歩行など)
7. 寝つきが悪い、寝かしつけ、夜泣き
8. 離乳食や子どもの食事
9. 子どもの言葉や社会性の発達 (言葉増え、大人とのやりとりなど)
10. 子どもの生活習慣のしつけ (歯みがき、トイレなど)
11. 子どもの行動 (かんしゃく、指しゃぶり、乱暴など)
12. 自分の時間が持たない
13. 育児の協力者
14. 保育園・幼稚園 (入園時期、保育園探し活動など)
15. 仕事 (復帰・復職のタイミングなど)
16. その他 ()



※問6 (1)で「1～5」と答えた方にうかがいます。※

問6 (3) その悩みや不安について、相談してよかったと感じた相談先はありますか。(複数回答可)

1. 配偶者、パートナー 2. 父母 3. 兄弟・姉妹 4. 友人・知人
5. 病院・医院・助産院 (助産師) 6. 薬局・薬剤師
7. 区役所・支所子どもはぐくみ室等 8. 子育て支援施設 (保育園・幼稚園・児童館など)
9. 療育施設 (児童発達支援など) 10. インターネット (質問サイト、SNSなど)
11. 電話相談 (子育て電話相談など) 12. その他 ()
13. 相談してよかったと感じた相談先はなかった 14. 誰にも相談しなかった

問7 食生活で実践していることについてお答えください。(複数回答可)

1. 1日3食必ず食べる	2. 食事時間を規則正しくする
3. できるだけ家族そろって食べる	4. 食前に手洗いをする
5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする	7. 食事のマナーを身に付ける
6. 食事中はテレビを消す	9. ゆつくりよく噛んで食べる
8. 栄養のバランスを考える	11. 子どもに食べ物を大切にすることを教える
10. 子どもが自分で食べようとすると食欲を大切に	12. その他 ()
12. その他 ()	13. 特になし

問8 お子さまは、食べ物に関するアレルギーがあると言われたことがありますか。(○は1つ) ある場合は、医師による診断の有無を選択してください。

1. ある (医師による診断: 1 受けた 2 受けていない)	2. ない
---------------------------------	-------

《出産された方にかかっています。》

問9 (1) 妊娠中はホルモンバランスの変化やつわり、食生活等の影響からむし歯や歯ぐきの炎症が起きやすいため、出産された方のお口の状況についてお聞きます。妊娠中もしくは現在において、歯と口で気になることはありますか。(複数回答可)

1. むし歯	2. 歯周病	3. 歯並び・かみ合わせ
4. 舌や口の中の粘膜	5. 歯が抜けたまま	6. 口臭
7. 歯や歯ぐきの色	8. 歯ざり	9. 顎関節(耳の前の関節の音や痛み)
10. 歯の手入れ	11. 妊娠中や授乳中の歯科治療	
12. その他 ()	13. 特になし	

《問9 (1) で「1～12」のいずれかに答えた方にかかっています。》

問9 (2) 妊娠中から現在まで、歯科健診・歯科治療を受けましたか。(複数回答可)

1. 妊娠中に受けた	2. 育児中に受けた (受けている)
3. 受けたくても受けられない	4. 必要性を感じなかった (感じない)
5. 受けていない	

問10 お子さまの歯と口で知りたいことや気になることはありますか。(複数回答可)

1. 歯の生え方	2. 歯並び・かみ合わせ	3. むし歯	4. 歯ぐき
5. 舌や口の中の粘膜	6. 歯の色	7. 歯ざり	8. 歯みがき
9. おやつ・間食	10. フッ素 (フッ化物)	11. 指しゃぶり	12. おしやぶり
13. かまないで食べる	14. いつも口が開いている	15. 口臭	16. 歯科治療
17. 歯科医院情報	18. その他 ()		
19. 特になし			

問11 (1) お子さまが家庭内の事故が起こった、もしくは事故が起こりそうになったことはありますか。(○は1つ)
※家庭内での事故とは、転落、衝突、やけど、誤飲、溺 (おぼ) れる、挟 (はさ) む、切る・刺すなどを指します。

1. ある ⇒問11 (2)へ	2. ない ⇒問12へ
-----------------	-------------

《問11 (1) で「1. ある」と答えた方にかかっています。》

問11 (2) その内容及び時期、場所と原因と思われるものは何ですか。(複数回答可)

事故の内容・時期	場所や原因			
転落 (歳 か月)	1. ソファー	2. 子ども用ベッド	3. 大人用ベッド	
	4. いす	5. 階段	6. ベランダ	
	7. 玄関	8. その他 ()		
衝突 (歳 か月)	9. 机	10. 壁	11. ドア	
	12. 棚	13. 人	14. その他 ()	
やけど (歳 か月)	15. 飲み物・調理食品	16. ポット	17. 鍋・やかん	
	18. 炊飯器	19. ホットプレート	20. 暖房器具	
	21. アイロン	22. その他 ()		
誤飲 (歳 か月)	23. たばこ	24. 医薬品	25. 化粧品	
	26. コイン	27. 紙・ビニール	28. 電池	
	29. 洗剤	30. おもちゃ	31. その他 ()	
溺れる (歳 か月)	32. 浴槽	33. 洗濯機	34. トイレ	
	35. ビニールプール	36. その他 ()		
挟む (歳 か月)	37. ドア	38. 窓	39. 引出し	
	40. 遊具	41. その他 ()		
切る・刺す (歳 か月)	42. 刃物 (はさみなど)	43. 針	44. はし	
	45. 歯ブラシ	46. その他 ()		

問12 京 (みやこ) あんしんこども館 (京都市子ども保健医療相談・事故防止センター) を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)
利用したことがある場合は、その時期を選択してください。

1. 利用したことがある (時期: 1 妊娠中 2 出産後 3 その他)
2. 知っているが利用したことがない
3. 知らない



妊婦・子育てに関連するサービス等の利用状況について

問 13 京都市の各サービスについてお答えください。
・「I 知らない」場合は、1に「O」をつけてください。
・「II 利用したことがある」場合は、満足度を2～4から選んでください（Oは1つ）。
・「III 知っているが利用したことがない」場合は、理由を5～9から選んでください（複数回答可）。

時期	サービス内容	I 知らない	II 利用したことがある（○は1つ）				III 知っているが利用したことがない（複数回答可）			
			満足	普通	不満	必要性や魅力を感じない	利用時間が合わない	場所が遠い・不便	利用方法がわからない	その他
妊 娠 期	① 妊婦健康診査受診券	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	② こんにちははプレママ事業 （妊娠期間中の訪問）	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	③ 成人・妊婦歯科相談	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	④ プレママ・パパ教室（両親教室）	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑤ 新生児聴覚検査受診券	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑥ 産婦健康診査受診券	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑦ こんにちはは赤ちゃん事業 （生後4か月までの間の家庭訪問）	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑧ スマイルママ・ホッと事業 （産後ケア事業）	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
育 児 期	⑨ 乳幼児健康診査	／	2	3	4	／	／	／	／	
	⑩ 乳幼児歯科相談	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑪ ふれあいファミリー食セミナー 「離乳食講習会」	1	2	3	4	5	6	7	8 9	
	⑫ 児童館・保育園・つどいの広場等 の子育て講座・交流会等	1	2	3	4	5	6	7	8 9	

回答者の状況について

問 14 この調査票を回答された方（以下「回答者」という。）とお子さまの籍柄をお答えください。（Oは1つ）

1. 母

2. 父

3. その他（

問 15 回答者の現在の年齢をお答えください。（Oは1つ）

1. 19歳以下

2. 20～24歳

3. 25～29歳

4. 30～34歳

5. 35～39歳

6. 40～44歳

7. 45歳以上

問 16 (1) 現在、回答者は働いていますか。（Oは1つ）

1. 働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）

2. 働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）

3. 育児休業中である

4. 働いていない

問 16 (2) 回答者の就労形態についてお答えください。（Oは1つ）

1. 正社員・正職員

2. 契約・パート・アルバイト

3. 派遣社員

4. 自営業

5. その他（

問 17 (1) 配偶者、パートナーがいらっしゃる方にうかがいます。配偶者、パートナーは働いていますか。

1. 働いている（育児休業・育児休暇は取得していた）

2. 働いている（育児休業・育児休暇は取得していない）

3. 育児休業中である

4. 働いていない

問 17 (2) 配偶者、パートナーの就労形態についてお答えください。（Oは1つ）

1. 正社員・正職員

2. 契約・パート・アルバイト

3. 派遣社員

4. 自営業

5. その他（

問 18 回答者の世帯の昨年1年間（令和4年1月1日～12月31日）の可処分所得（妻収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（Oは1つ）

1. 0～100万円

2. 101万～200万円

3. 201万～300万円

4. 301万～400万円

5. 401万～500万円

6. 501万～600万円

7. 601万～800万円

8. 801万～1,000万円

9. 1,001万円以上

（自由記述）本アンケートや行政に期待する支援策に関すること等で、ご意見がございましたらご記入ください。

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました！